

令和7年度 第2回亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会

と き：令和8年3月11日(水)

午後2時から

ところ：亀岡市役所3階302・303会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 高齢者等実態把握調査の結果について 資料1、資料2、参考資料

(2) 第10期亀岡市いきいき長寿プランの策定スケジュールについて

資料3

4 閉 会

亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会委員名簿

(令和6年7月1日～令和8年6月30日：敬称略)

所属	団体名	委員名	備考
学識経験者	龍谷大学	松田 美智子	
保健、医療、福祉等	亀岡市医師会	河野 秀彦	
保健、医療、福祉等	亀岡市歯科医師会	荻野 茂	
保健、医療、福祉等	亀岡市薬剤師会	国府 千香代	
保健、医療、福祉等	亀岡市社会福祉協議会	山崎 浩久	
保健、医療、福祉等	亀岡市民生委員児童委員協議会	小寺 邦明	
保健、医療、福祉等	公益社団法人 亀岡市シルバー人材センター	浦 邦彰	
保健、医療、福祉等	社会福祉法人 利生会	細川 景子	
保健、医療、福祉等	社会福祉法人 友愛会	前淵 功	
保健、医療、福祉等	亀岡市老人クラブ連合会	林 昭	
市民代表	亀岡市自治会連合会	堀田 稔	
市民代表	市民代表	谷奥 正憲	
市民代表	市民代表	岩坂 静子	
行政機関	京都府南丹広域振興局	庄田 昭彦	

亀岡市高齢者等実態調査の結果について

調査の概要

1 調査目的

本調査は、第10期亀岡市介護保険事業計画を包含する「亀岡市いきいき長寿プラン」を策定するにあたり、高齢者等の生活実態をはじめ、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況、これらに対する今後のニーズ、健康づくりや生きがいづくりに関する意識などを的確に把握し、「亀岡市いきいき長寿プラン」に反映させる基礎資料として活用するために実施しました。

2 調査の実施について

(1) 対象者

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	令和7年12月1日現在で65歳以上の高齢者の中から層化抽出（市内3圏域）
在宅介護実態調査	令和7年12月1日現在で65歳以上の高齢者、及び第2号被保険者で、在宅の介護保険サービス利用者から層化抽出（市内3圏域） ※調査票には、A票とB票が含まれ、A票は本人（調査対象者）が回答、B票は主な介護者が回答

(2) 実施方法

郵送配布・郵送回収

(3) 実施期間

令和7年12月24日（水）～令和8年1月16日（金）

(4) 有効回答件数及び回答率

	配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3,500件	2,018件	57.7%
在宅介護実態調査	608件	314件	51.6%

(5) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

- 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
- 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer = いくつでも）、3LA（3 Limited Answer = 3つまで）と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。
- 各種リスクの非該当には判定不能も含む。

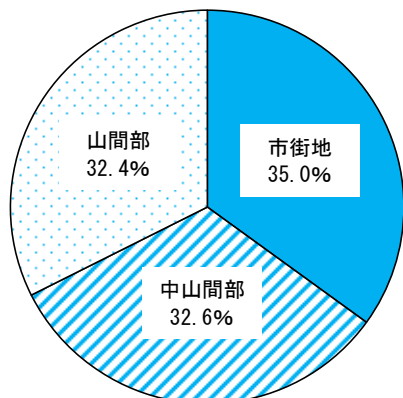
2. 回答者の属性（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

(1) 圏域、年齢、性別

【全体】

- 圏域について、「市街地」が 35.0%で最も多く、次いで「中山間部」が 32.6%、「山間部」が 32.4%となっています。

【圏域】



圏域	該当地域
①市街地	亀岡地区、大井町、千代川町、篠町、東つつじヶ丘、西つつじヶ丘、南つつじヶ丘
②中山間部	曾我部町、吉川町、蔦田野町、馬路町、旭町、千歳町、河原林町、保津町
③山間部	東別院町、西別院町、本梅町、畑野町、宮前町、東本梅町

上段：人数 下段：割合 (%)

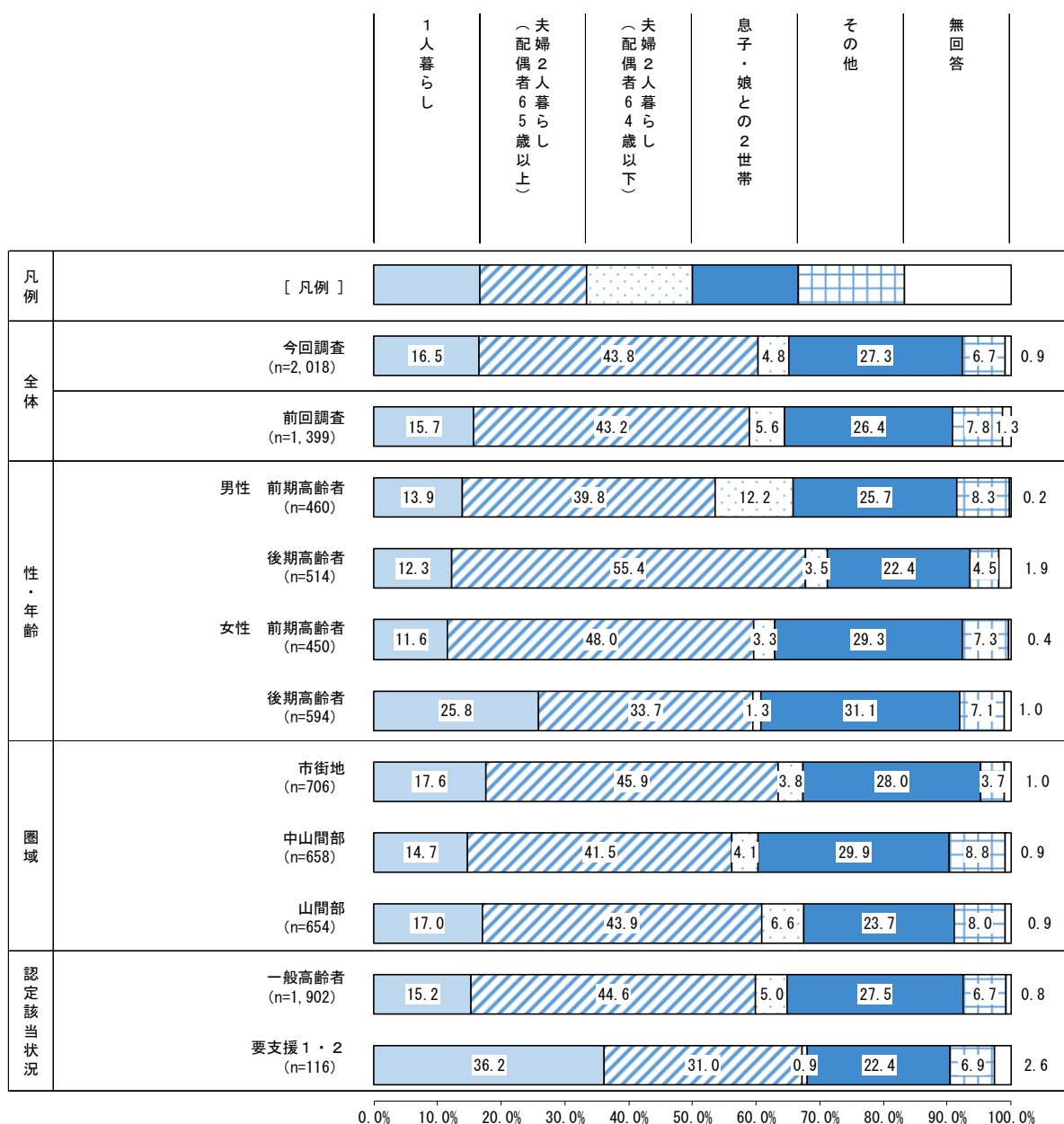
	全 体	男 性	女 性
全 体	2018	974	1044
	100	48.3	51.7
前期高齢者	910	460	450
	100	50.5	49.5
後期高齢者	1108	514	594
	100	46.4	53.6
市街地	706	339	367
	100	48	52
中山間部	658	306	352
	100	46.5	53.5
山間部	654	329	325
	100	50.3	49.7

3. 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

（1） 家族構成

【全体】
○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が43.8%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が27.3%、「1人暮らし」が16.5%となっています。
【性・年齢】
○ 「1人暮らし」は男性後期高齢者が12.3%、女性後期高齢者が25.8%と女性のほうが多くなっています。
【圏域】
○ どの圏域も「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多くなっています。
【認定該当状況】
○ 「1人暮らし」は一般高齢者では15.2%、要支援1・2では36.2%と約2倍になっています。

【家族構成】



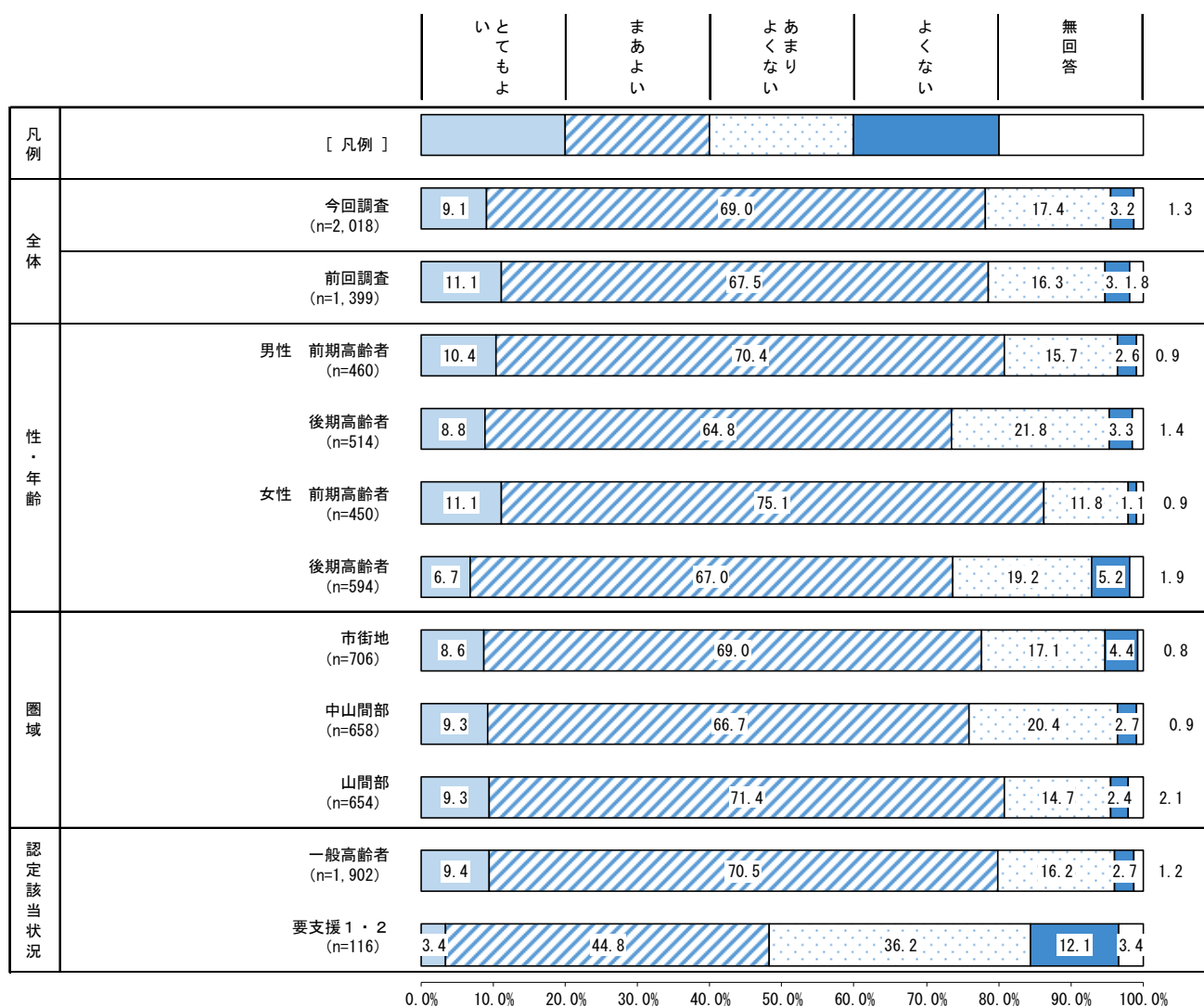
(2) 健康状態

① 主観的な健康感

●問8(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ)

【全体】
○ 主観的健康感について、「まあよい」が 69.0%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 17.4%、「とてもよい」が 9.1%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせた“健康状態がよい方”は 78.1%となっています。
○ 前回調査とほぼ同じ結果となっています。
【性・年齢】
○ “健康状態がよい方”は男女ともに、前期高齢者で 80%台、後期高齢者で 70%台となっています。
【認定該当状況】
○ “健康状態がよい方”は、一般高齢者で 79.9%、要支援1・2で 48.2%と差がみられます。

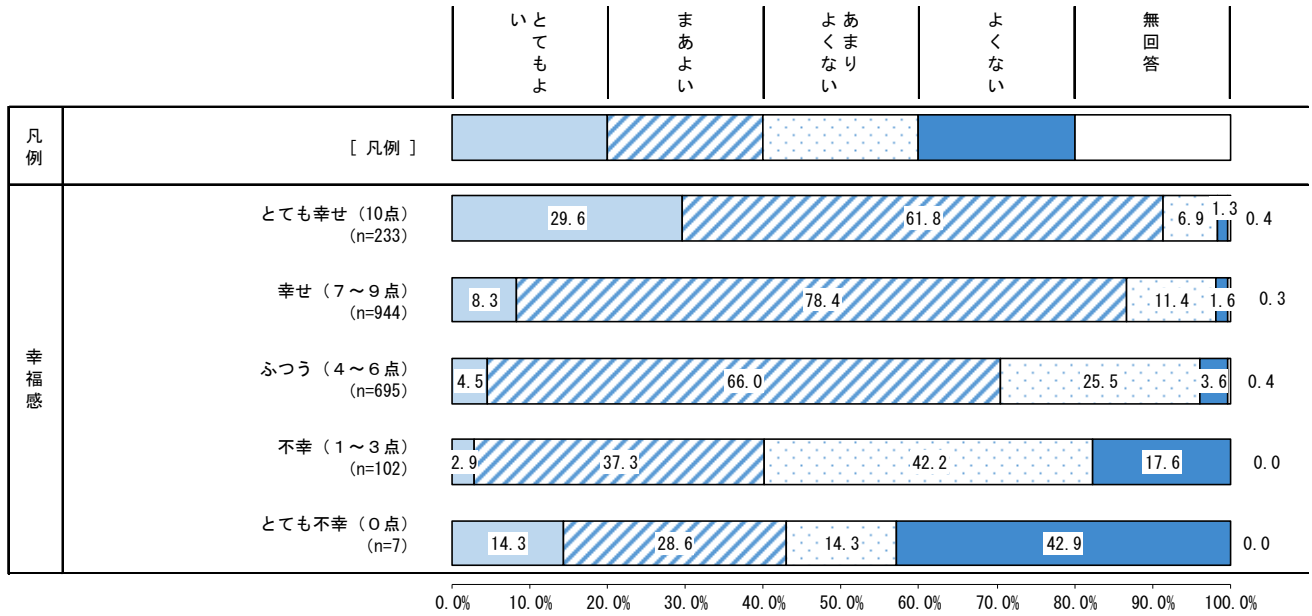
【主観的健康感】



【幸福感】

○ 「とても不幸（0点）」を除くと、主観的な健康観は幸福感が高いほど“健康状態がよい方”が多くなっています。

【主観的健康感】

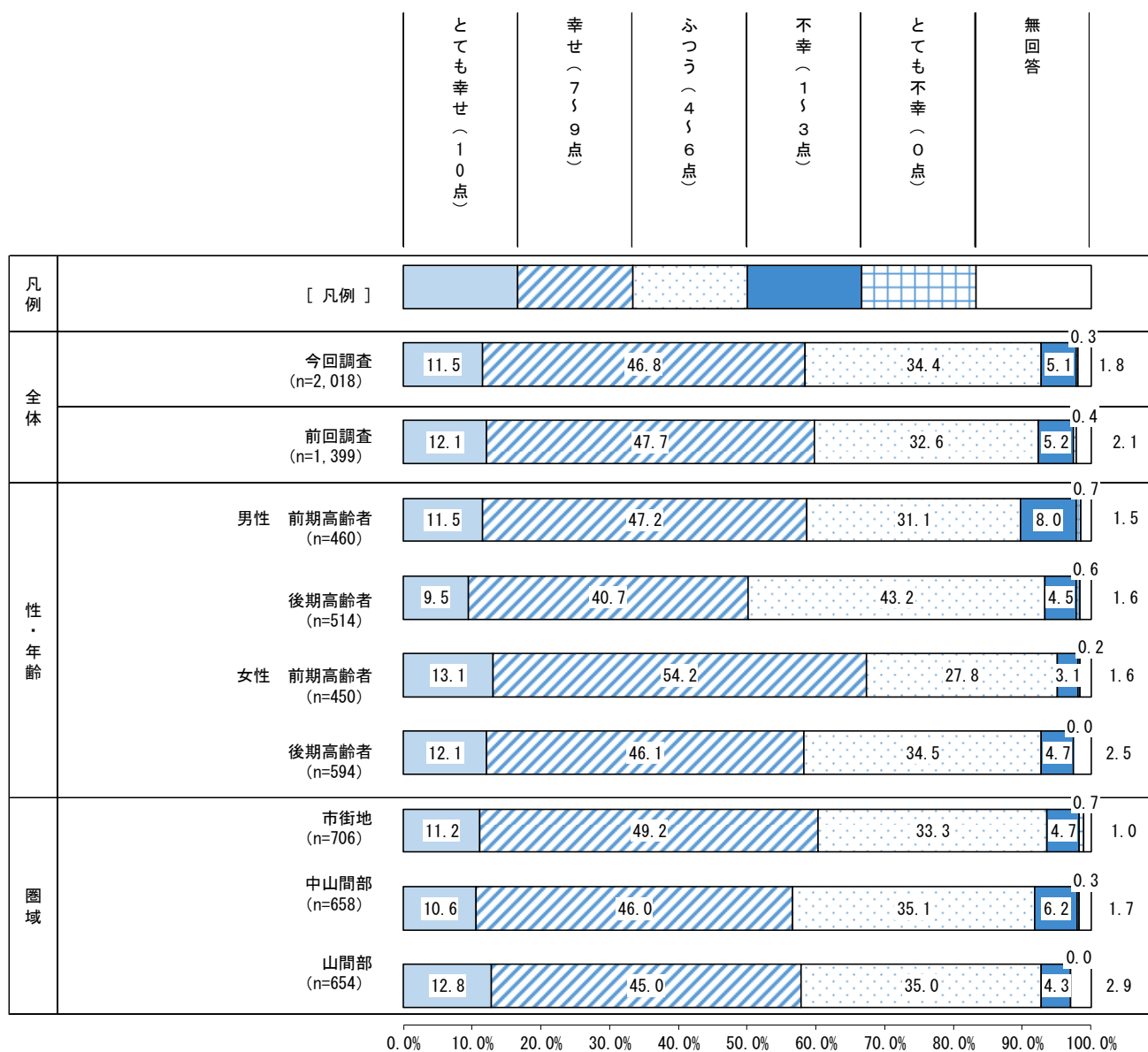


② こころの健康

●問8(3) あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ)

<p>【全体】</p> <p>○ 現在どの程度幸せかについて、10点満点でたずねたところ、「幸せ（7～9点）」が46.8%で最も多く、次いで「ふつう（4～6点）」が34.4%、「とても幸せ（10点）」が11.5%となっています。</p> <p>○ 前回調査とほぼ同じ結果となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 「幸せ（7～9点）」は女性前期高齢者のみ50%台となっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 圏域で差はみられません。</p>
--

【幸福感】



(3) 生活機能評価

●運動器の機能低下リスク

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合に『運動器の機能低下』のリスク該当者と判定している。

設問	該当する選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15分位続けて歩いていますか	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある/1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である/やや不安である

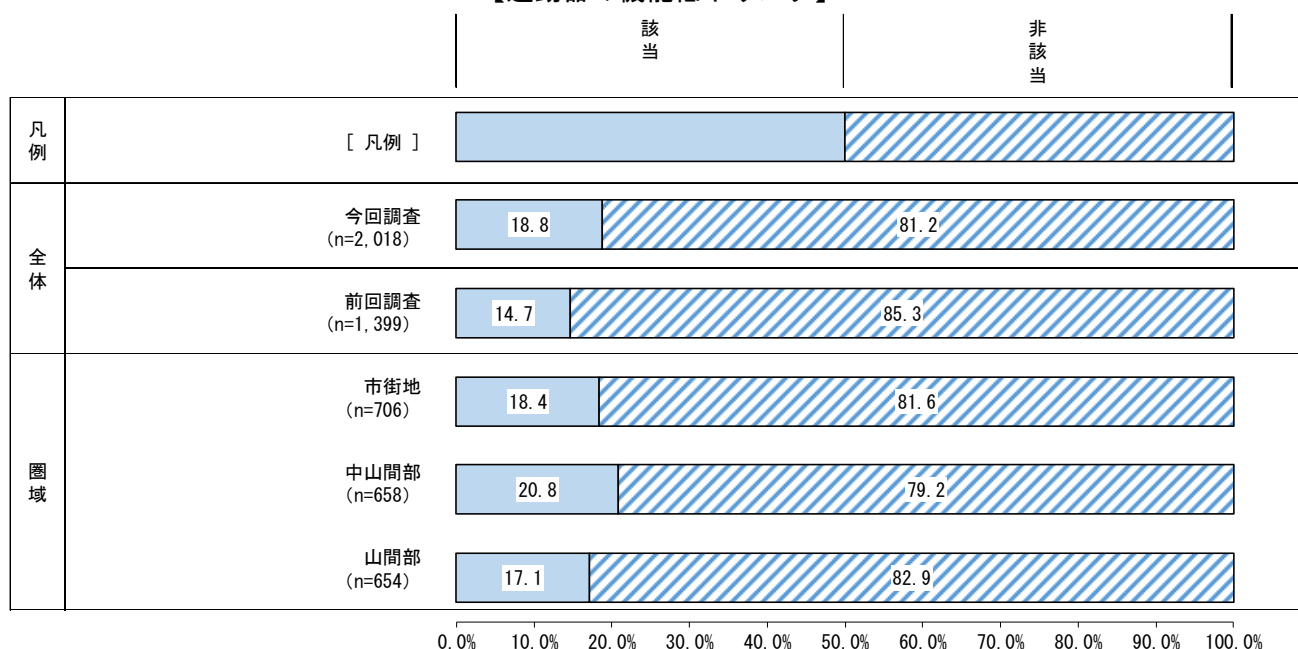
【全体】

- 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が18.8%、「非該当」が81.2%となっています。
- 前回調査と比べ、「該当」のポイントが4.1ポイント増加しています。

【圏域】

- 「該当」は中山間部のみ20%台となっています。

【運動器の機能低下リスク】



●転倒リスク

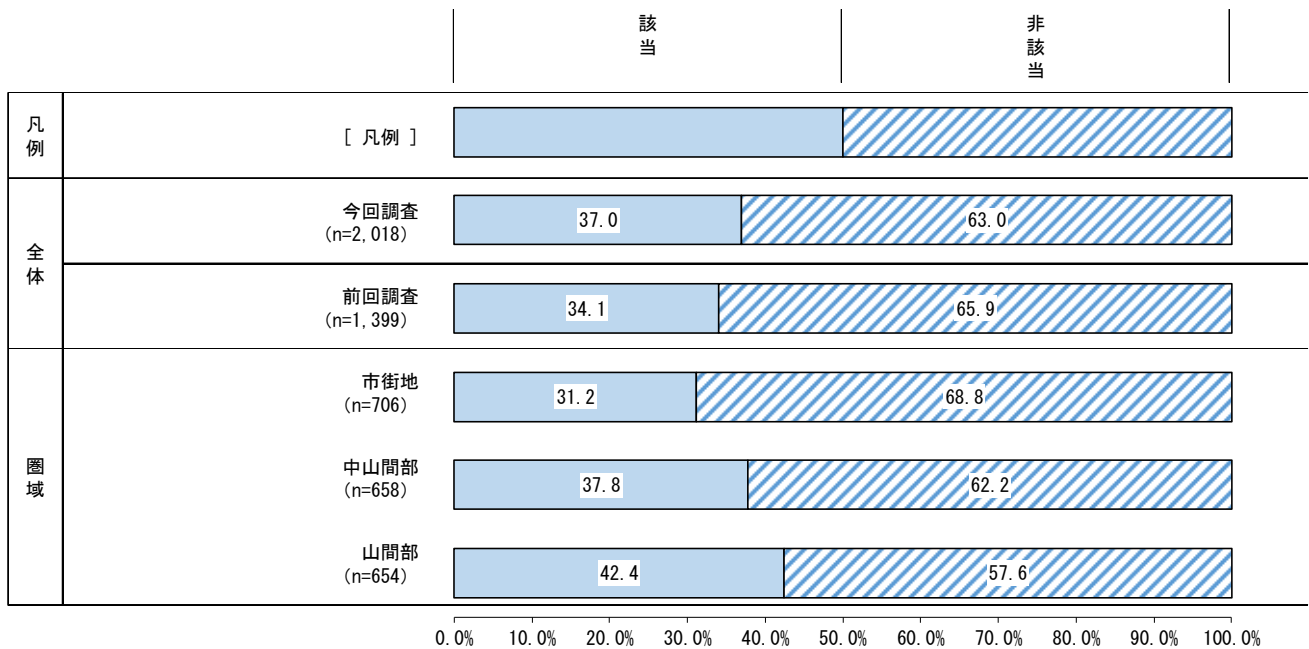
以下の設問に対して該当する場合は、『転倒』のリスク該当者と判定している。

設問	該当する選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

【全体】
 ○ 転倒リスクについて、「該当」が37.0%、「非該当」が63.0%となっています。
 ○ 前回調査とほぼ同じ結果となっています。

【圏域】
 ○ 「該当」は市街地のみ31.2%と低くなっています。

【転倒リスク】



●閉じこもりのリスク

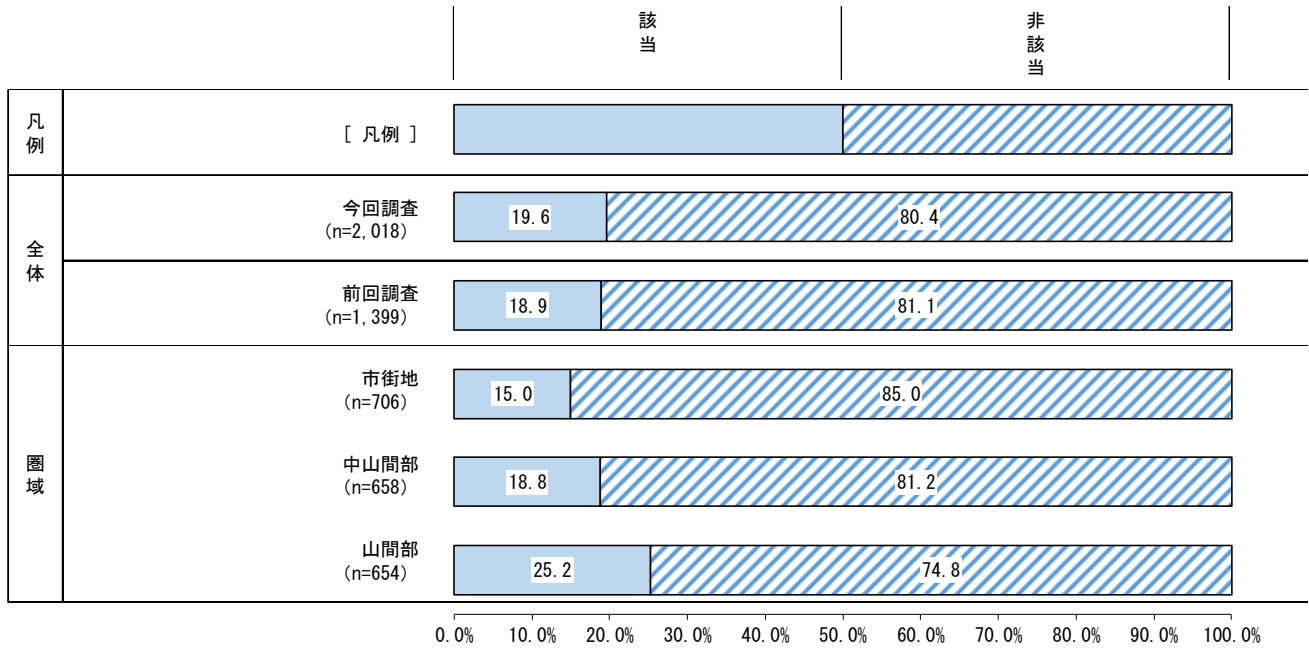
以下の設問に対して該当する場合は、『閉じこもり』のリスク該当者と判定している。

設問	該当する選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない/週1回

【全体】
 ○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が19.6%、「非該当」が80.4%となっています。
 ○ 前回調査とほぼ同じ結果となっています。

【圏域】
 ○ 「該当」は山間部のみ20%台と多くなっています。

【閉じこもりのリスク】



●低栄養のリスク

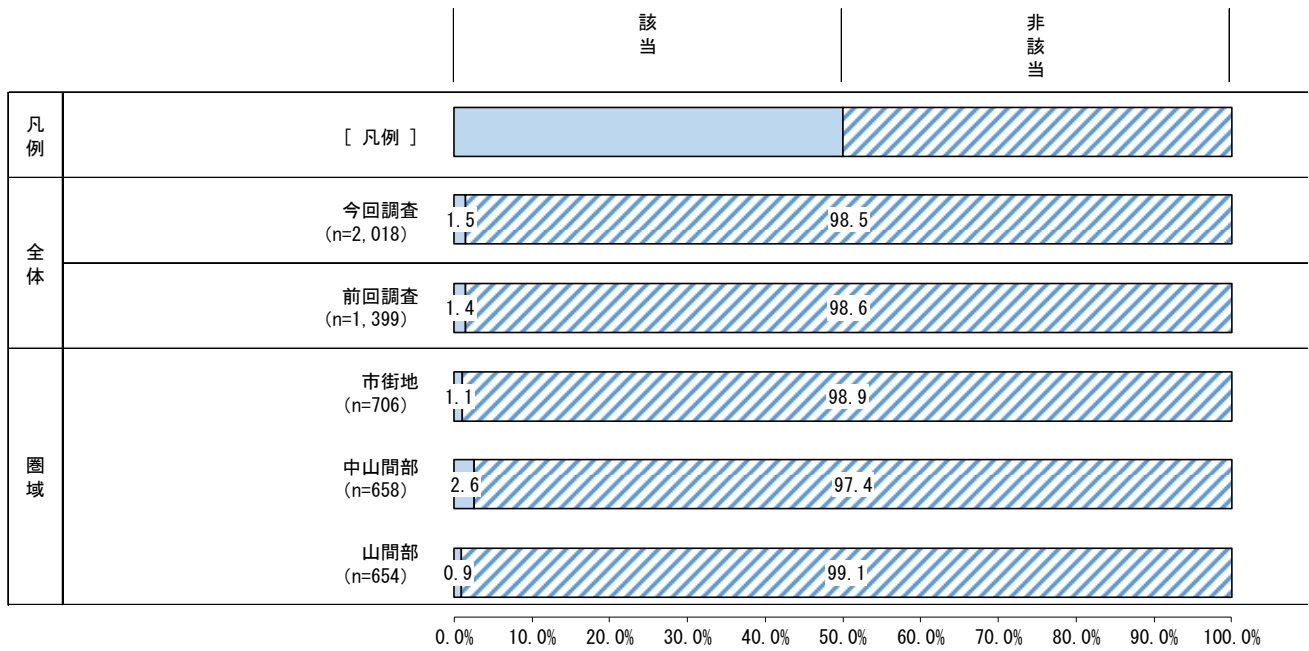
以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、『低栄養』のリスク該当者と判定している。

設問	該当する選択肢
身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷身長 (m) ²)	18.5未満
6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	はい

【全体】
 低栄養のリスクについて、「該当」が1.5%、「非該当」が98.5%となっています。
 前回調査とほぼ同じ結果となっています。

【圏域】
 圏域で差はみられません。

【低栄養のリスク】



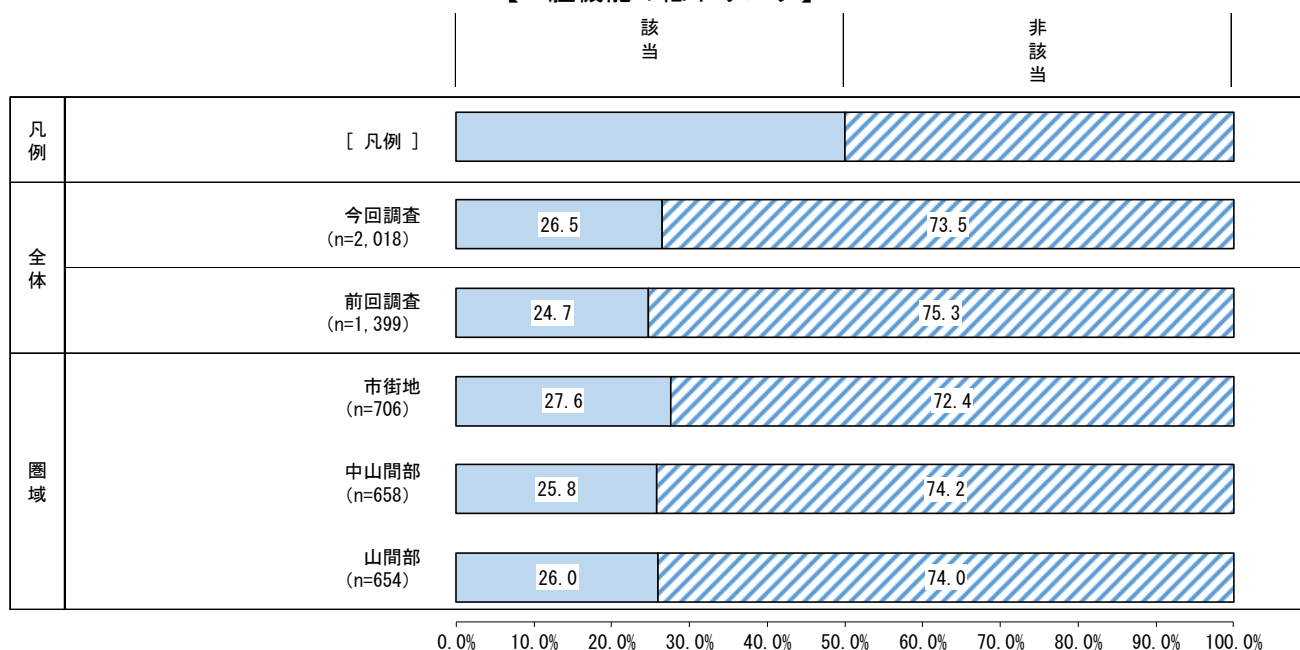
●口腔機能の低下リスク

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、『口腔機能の低下』のリスク該当者と判定している。

設問	該当する選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が26.5%、「非該当」が73.5%となっています。 ○ 前回調査とほぼ同じ結果となっています。 <p>【圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 圏域で差はみられません。

【口腔機能の低下リスク】



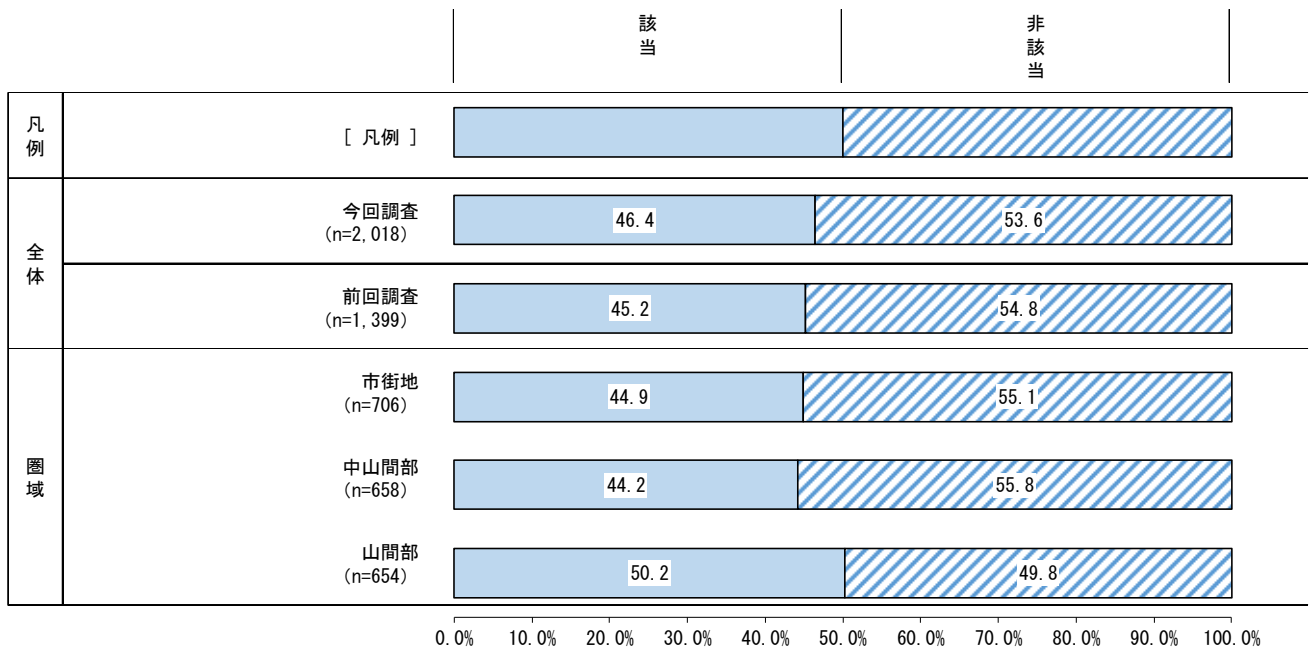
● 認知機能の低下リスク

以下の設問に対して該当する場合は、『認知機能の低下』のリスク該当者と判定している。

設問	該当する選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

<p>【全体】</p> <p>○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が46.4%、「非該当」が53.6%となっています。</p> <p>○ 前回調査とほぼ同じ結果となっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「該当」は山間部のみ50%台となっています。</p>

【認知機能の低下リスク】



● うつのリスク

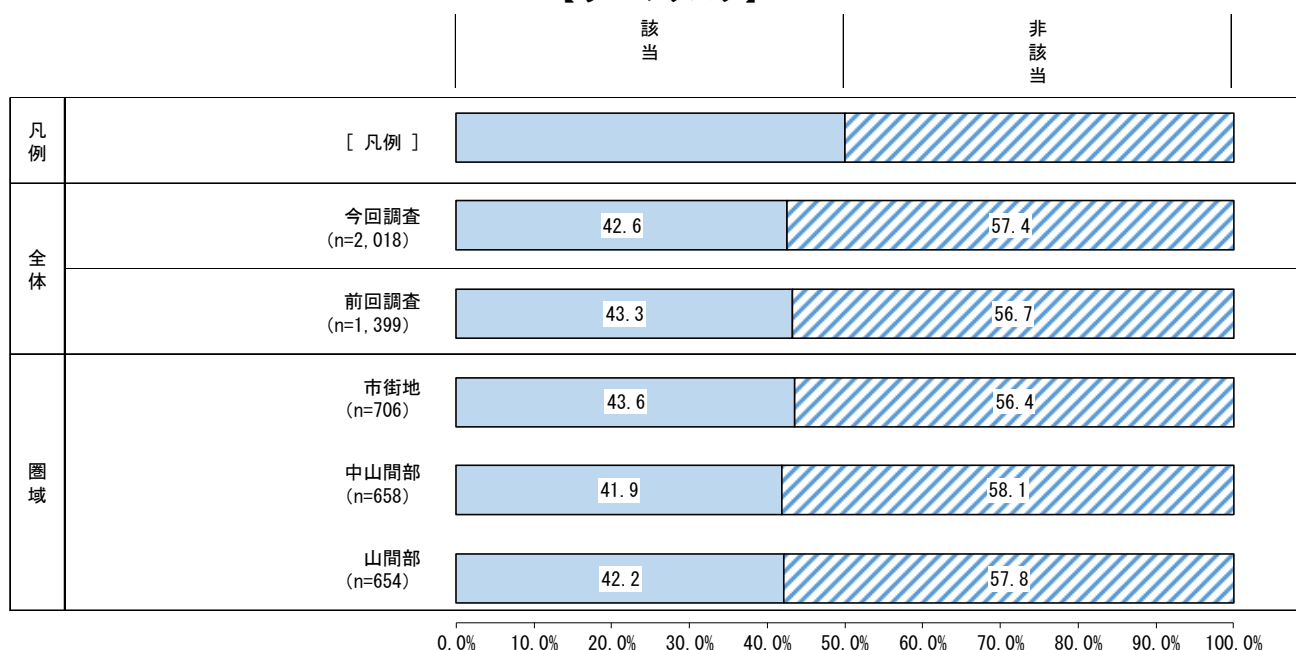
以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、『うつ』のリスク該当者と判定している。

設問	該当する選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

【全体】
 うつのリスクについて、「該当」が42.6%、「非該当」が57.4%となっています。
 前回調査とほぼ同じ結果となっています。

【圏域】
 圏域で差はみられません。

【うつのリスク】



(4) 日常生活評価

●IADL（手段的自立度）

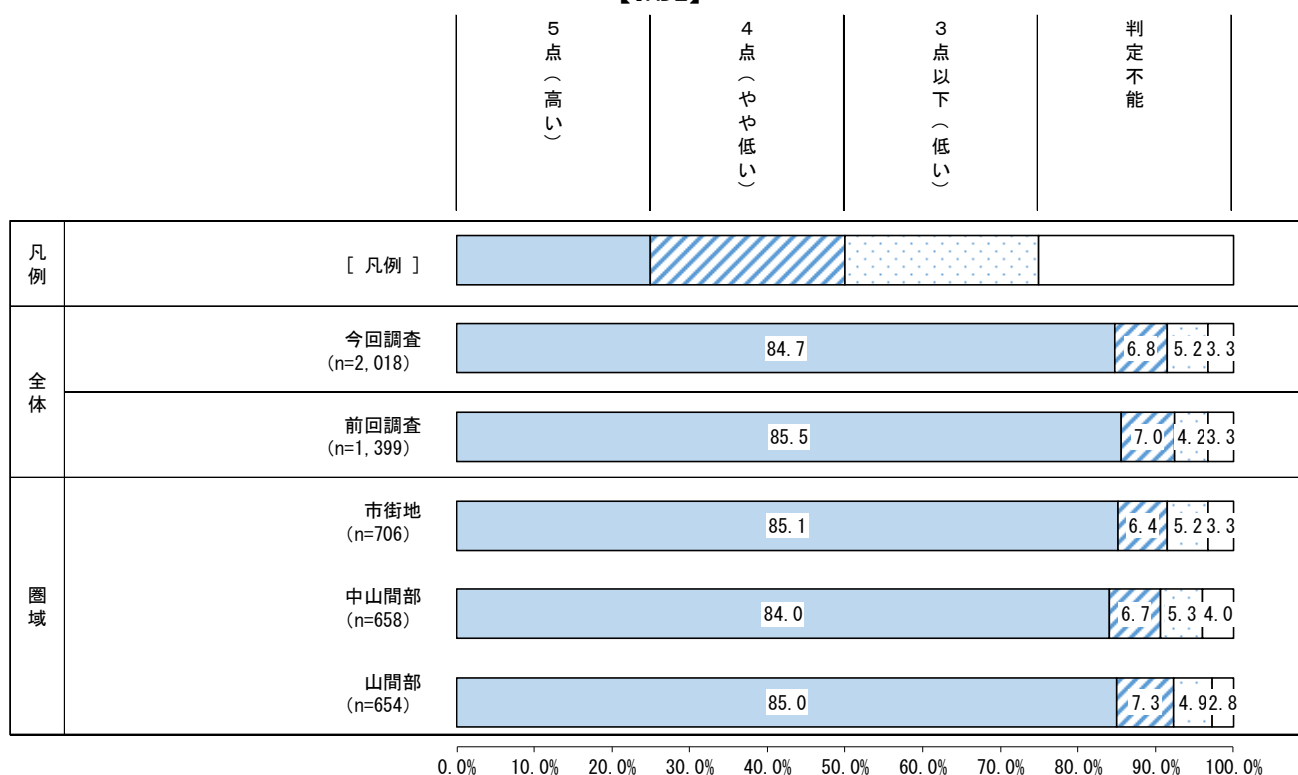
以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価。

設問	該当する選択肢	配点
バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

※手段的自立度（IADL）とは、『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ IADL について、「5点（高い）」が84.7%で最も多く、次いで「4点（やや低い）」が6.8%、「3点以下（低い）」が5.2%となっています。 ○ 前回調査とほぼ同じ結果となっています。 <p>【圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 圏域で差はみられません。
--

【IADL】



(5) 社会参加評価

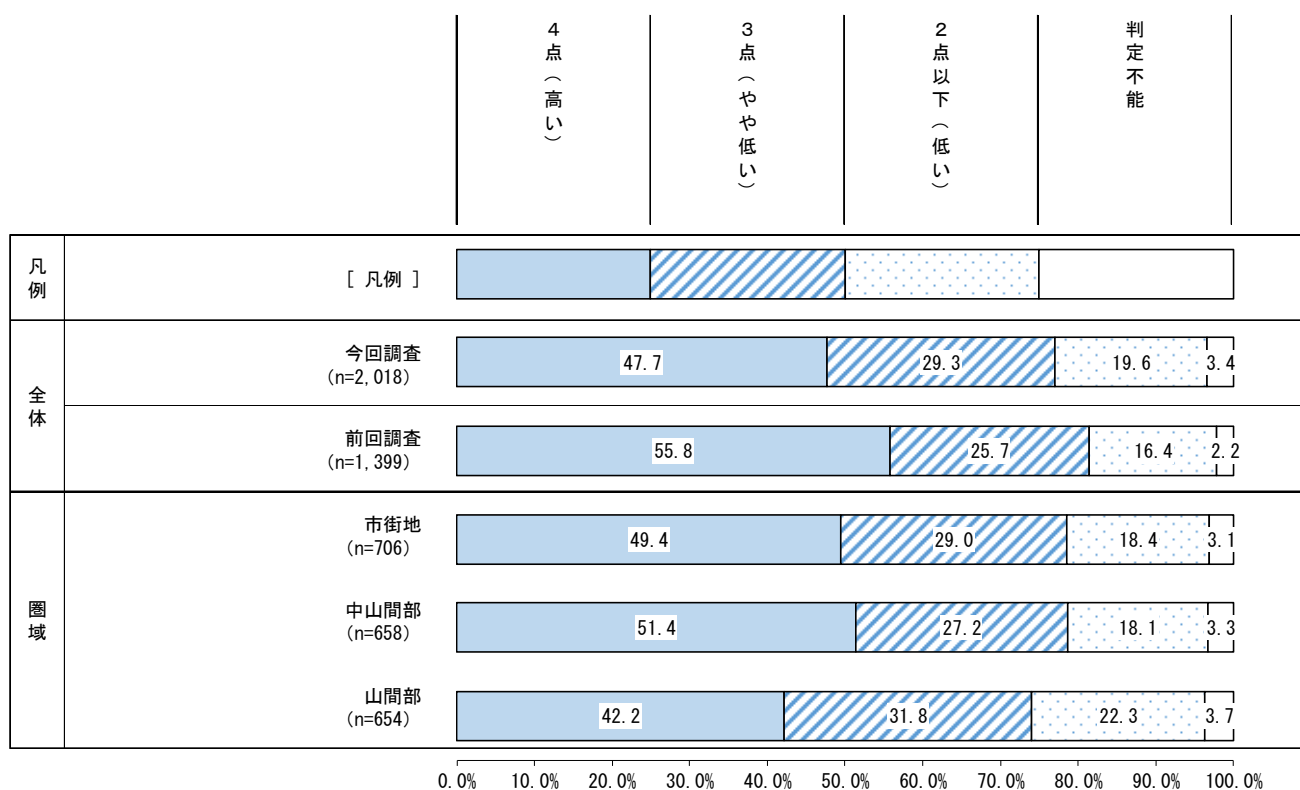
●知的能動性

以下の設問を4点満点で判定し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価。

設問	該当する選択肢	配点
年金などの書類が書けますか	はい	1点
新聞を読んでいますか	はい	1点
本や雑誌を読んでいますか	はい	1点
健康についての記事や番組に関心がありますか	はい	1点

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 知的能動性について、「4点（高い）」が47.7%で最も多く、次いで「3点（やや低い）」が29.3%、「2点以下（低い）」が19.6%となっています。 ○ 前回調査と比較すると、「4点（高い）」は前回調査（55.8%）より8.1ポイント低くなっています。 <p>【圏域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「4点（高い）」は中山間部のみ50%を超えています。
--

【知的能動性】



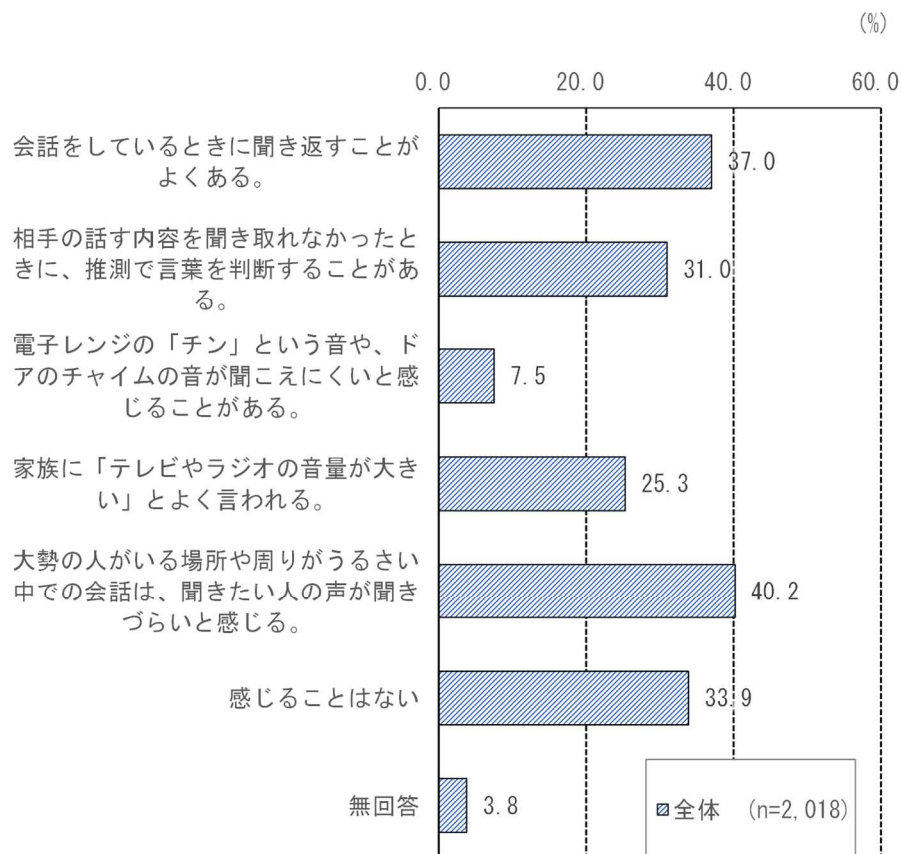
(6) 耳の聞こえ

●問4 (22) 耳が聞こえにくくなったと感じることがありますか (〇はいくつでも)

【全体】

- 耳の聞こえについて、「大勢の人がいる場所や周りがうるさい中での会話は、聞きたい人の声が聞きづらいと感じる」が 40.2%、次いで「会話をしているときに聞き返すことがよくある」が 37.0%となっています。

【耳の聞こえについて】



(7) 地域の会・グループへの参加状況

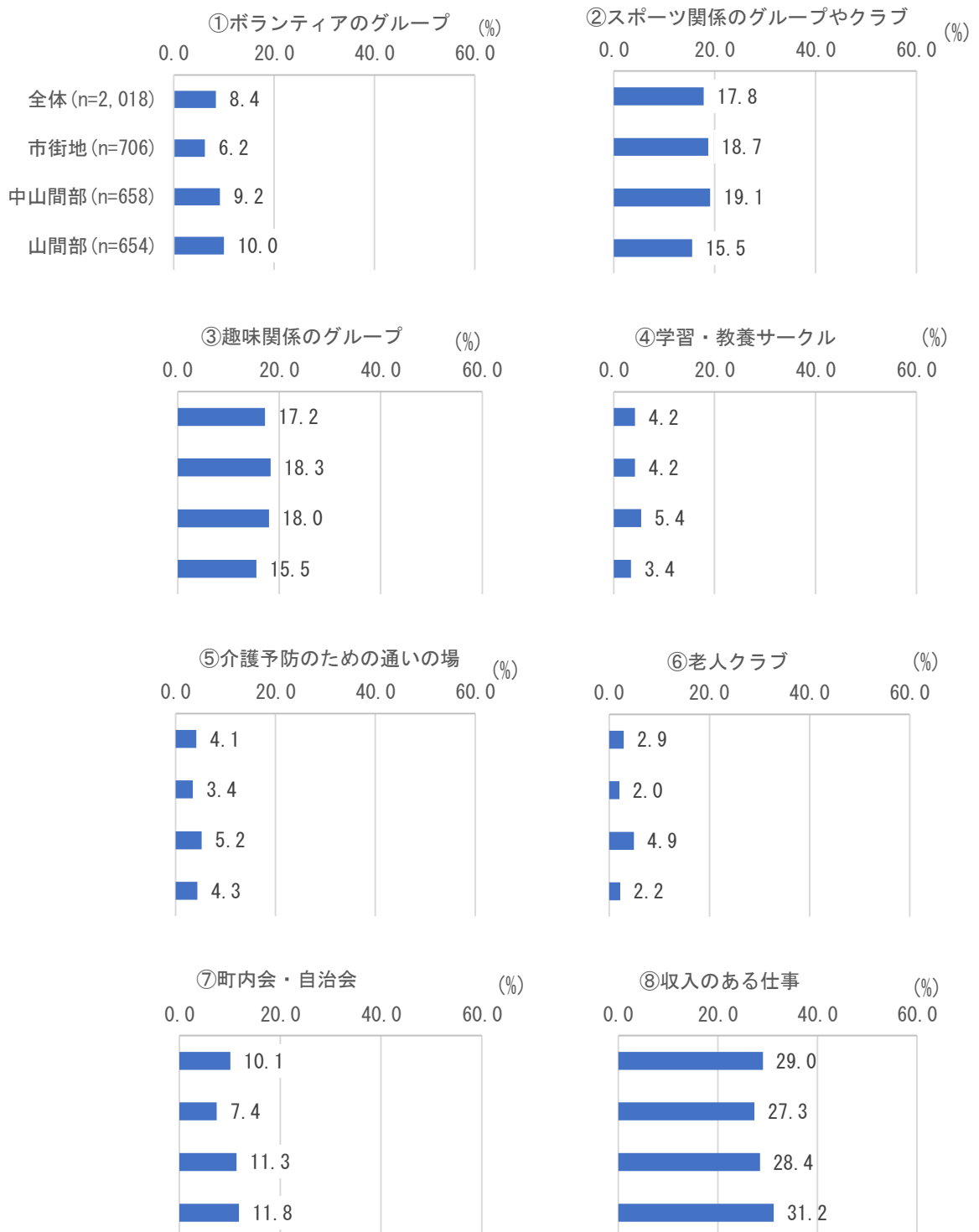
●問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑧それぞれ1つ)

【全体】
 ○ “月1回以上参加している活動は、[⑧収入のある仕事]が29.0%で最も多く、次いで[②スポーツ関係のグループやクラブ]が17.8%、[③趣味関係のグループ]が17.2%となっています。

【圏域】
 ○ 圏域別で大きな差はみられません。

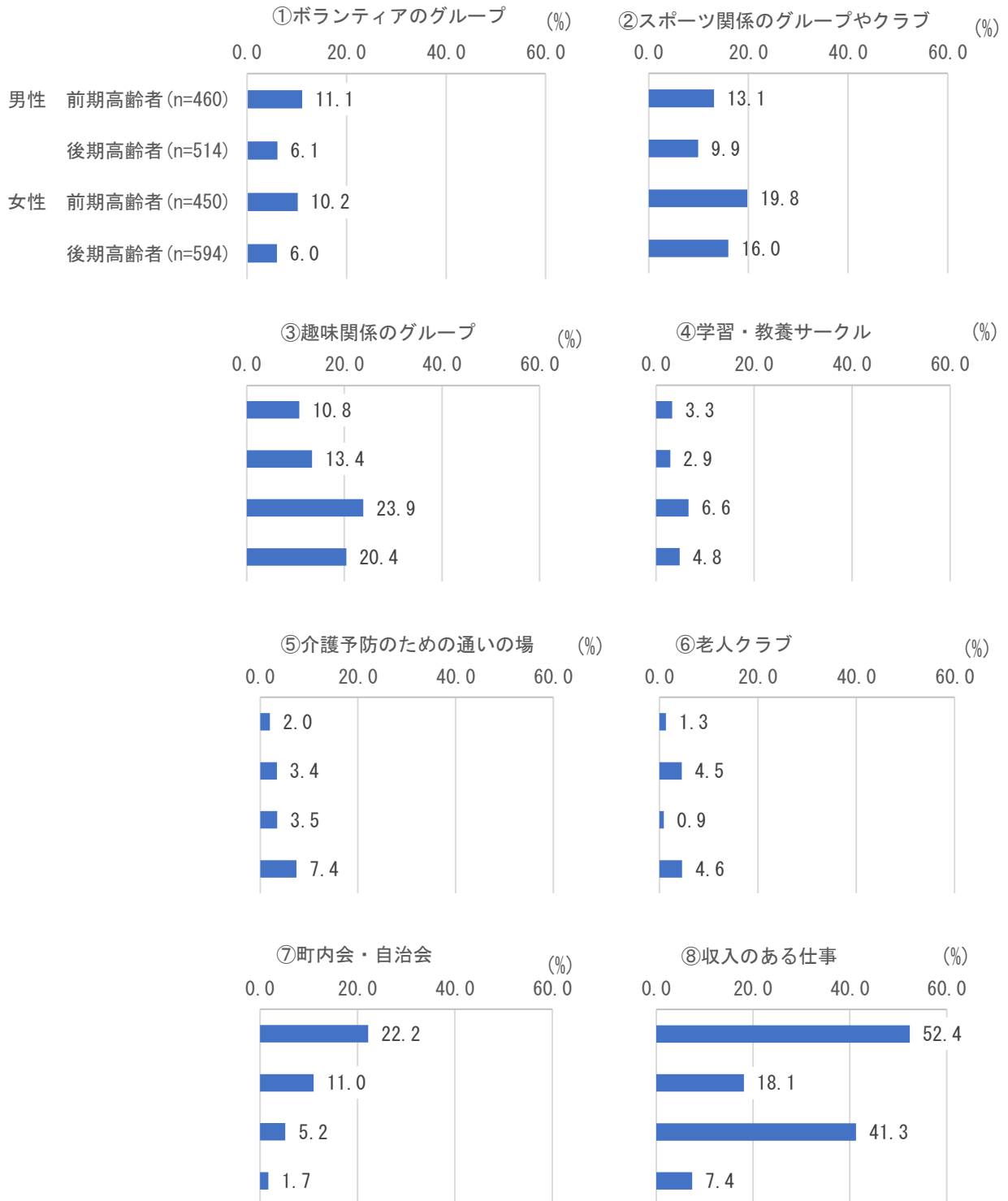
【会・グループへの参加頻度（全体・圏域）】《※月に1回以上参加している割合》



【性・年齢】

- [③趣味関係のグループ] は前期高齢者・後期高齢者ともに男性より女性のほうが多くなっています。
- [⑦町内会・自治会] は前期高齢者・後期高齢者ともに女性より男性が多く、男性前期高齢者は20%を超えています。
- [⑧収入のある仕事] は男性前期高齢者で50%を超え、女性前期高齢者は40%を超えています。男性後期高齢者は20%未満、女性後期高齢者で10%未満となっています。

【会・グループへの参加頻度（性・年齢別）】 <<※月に1回以上参加している割合>>

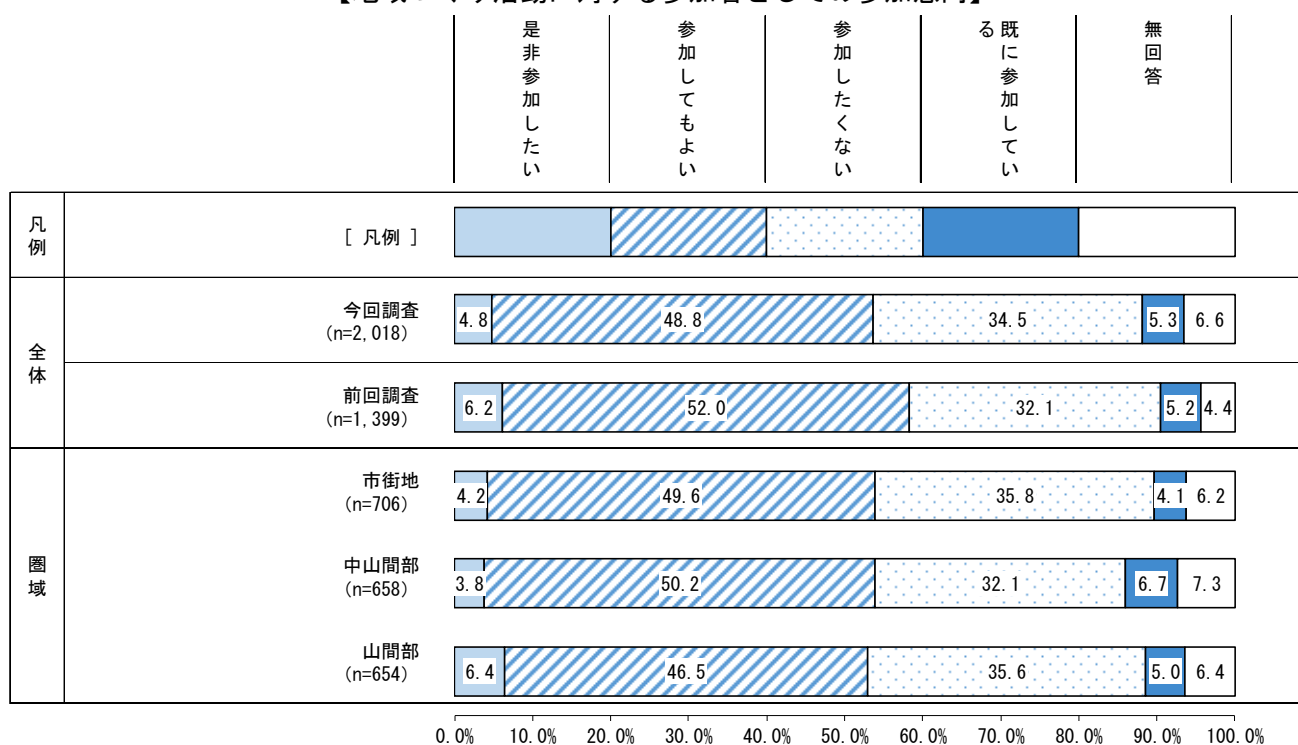


- 問5 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

【全体】
 ○ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が48.8%で最も多く、次いで「参加したくない」が34.5%、「既に参加している」が5.3%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は53.6%となっています。
 ○ 参加意向のある方が減っています。

【圏域】
 ○ 圏域で差はみられません。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



(8) 家族や友人・知人以外の相談相手

- 問7(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

【全体】

- 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が40.5%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が26.7%、「地域包括支援センター・市役所」が14.3%となっています。
- 前回調査と比べて、「そのような人はいない」は前回調査(33.0%)から7.5ポイント増えています。

【性・年齢】

- 「そのような人はいない」は男性前期高齢者で半数を超えています。

【圏域】

- 圏域で差はみられません。

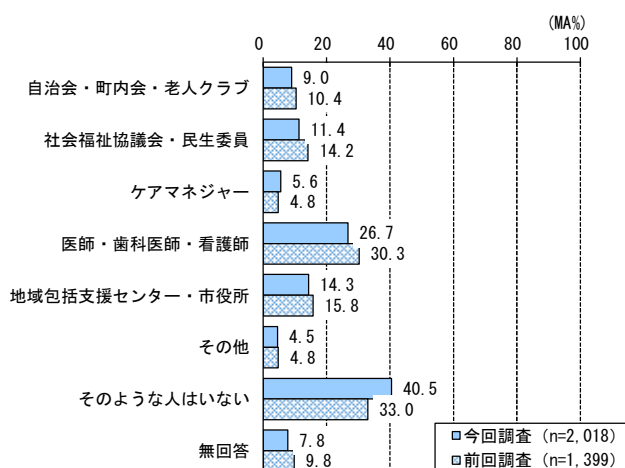
【認定該当状況】

- 「そのような人はいない」は要支援1・2より一般高齢者のほうが25.6ポイント多くなっています。
- 「ケアマネジャー」では30ポイント以上、「地域包括支援センター・市役所」では20ポイント以上、一般高齢者より要支援1・2のほうが多くなっています。

【家族構成】

- 家族構成で大きな差はみられません。

【何かあったときの相談相手(MA)】



単位：%

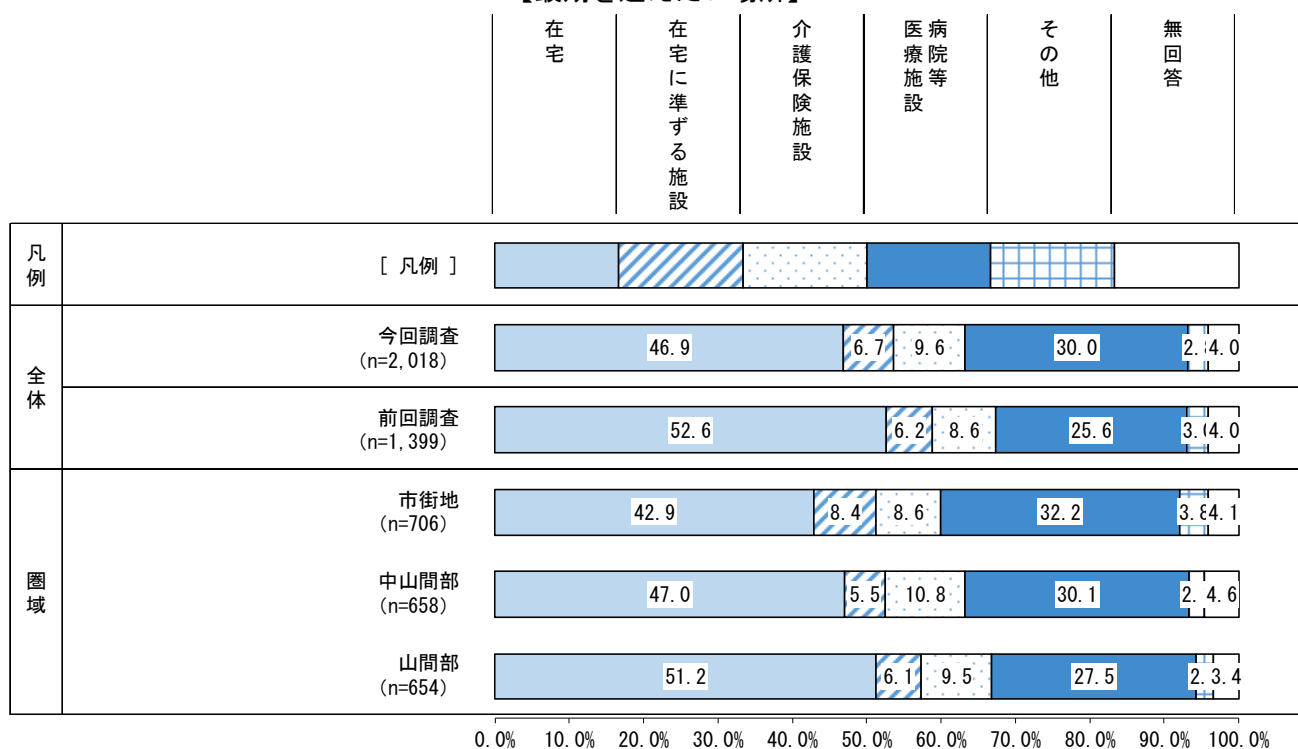
	母数 (n)	何かあったときの相談相手(MA)								
		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	2,018	9.0	11.4	5.6	26.7	14.3	4.5	40.5	7.8	
性・年齢	男性 前期高齢者	460	12.8	7.4	2.6	24.1	10.2	4.8	51.1	3.7
	男性 後期高齢者	514	10.7	12.8	6.8	30.5	15.2	3.9	35.8	7.0
	女性 前期高齢者	450	6.0	7.3	3.6	29.3	14.2	4.2	45.3	5.8
	女性 後期高齢者	594	6.9	16.3	8.6	23.4	16.7	4.9	32.8	13.3
圏域	市街地	706	6.1	8.8	5.9	26.3	13.6	4.5	43.3	6.9
	中山間部	658	10.2	13.1	6.2	26.9	16.1	3.2	37.7	9.7
	山間部	654	11.0	12.5	4.7	26.9	13.1	5.7	40.4	6.9
認定該当状況	一般高齢者	1,902	9.4	11.4	3.5	26.8	12.9	4.6	42.0	7.8
	要支援1・2	116	3.4	11.2	40.5	25.9	37.1	2.6	16.4	8.6
	1人暮らし	332	11.4	19.9	6.6	19.3	14.8	4.5	38.3	6.9
家族構成	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	884	9.2	10.3	5.4	29.5	14.1	3.6	40.4	8.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	97	9.3	11.3	2.1	22.7	7.2	3.1	47.4	6.2
	息子・娘との2世帯	550	7.8	8.7	5.5	27.6	15.6	5.6	42.0	7.3
	その他	136	6.6	8.8	7.4	24.3	15.4	6.6	37.5	11.8

(9) 終末期における療養場所の希望

●問8 (9) 万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。

- 【全体】**
- 治る見込みのない病気になった場合、最後はどこで迎えたいかについて、「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」が46.9%で最も多く、次いで「病院等医療施設」が30.0%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）」が9.6%となっています。
 - 前回調査に比べると、「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」は5.7ポイント減少しています。
- 【圏域】**
- 「在宅（自宅・子どもの家・兄弟親族の家等）」は山間部のみ50%台で多くなっています。「病院等医療施設」は山間部のみ20%台で低くなっています。

【最期を迎えたい場所】

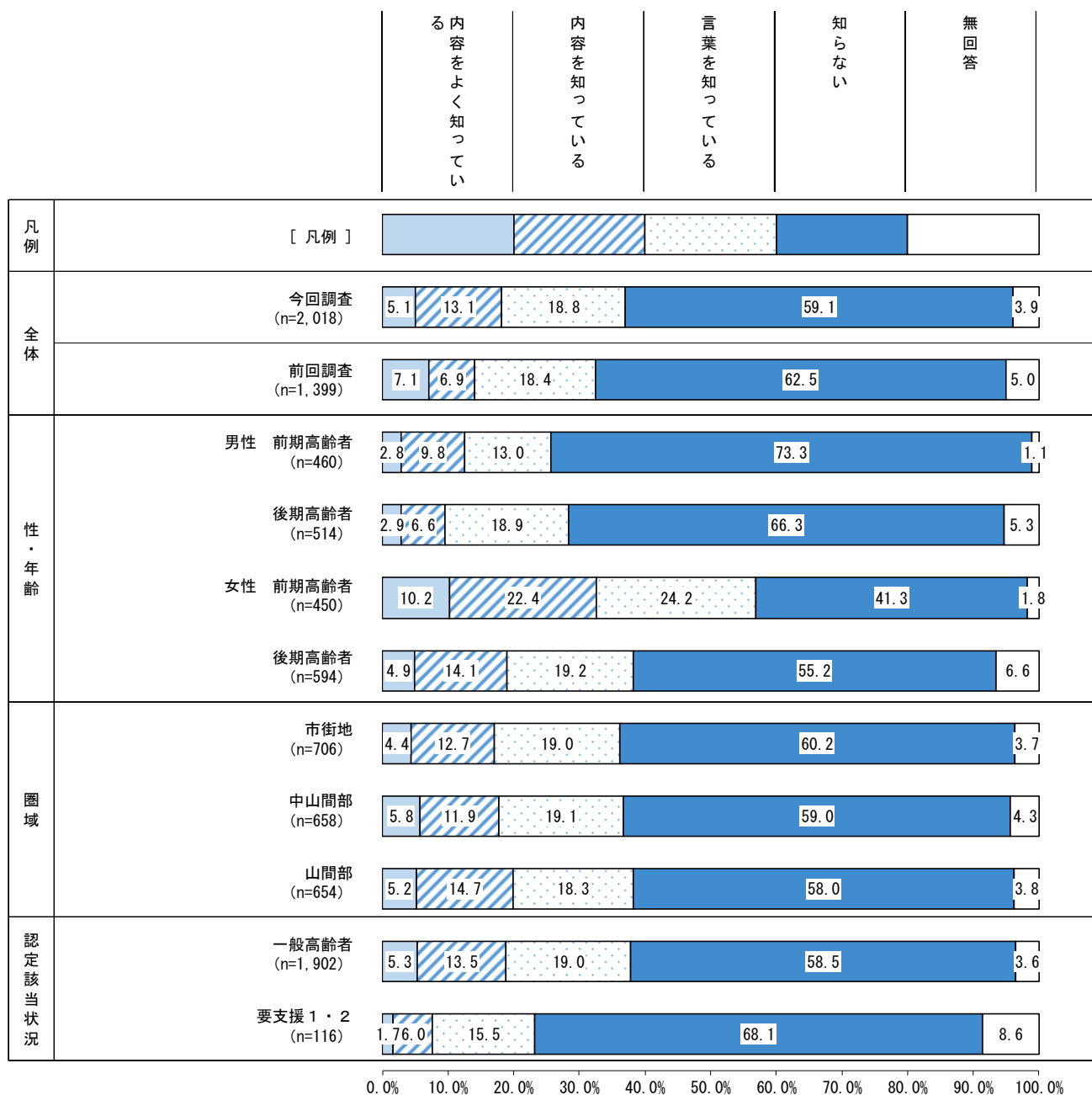


(10) 「フレイル」の認知度

●問8(11) 「フレイル」を知っていますか。(1つだけ)

<p>【全体】</p> <p>○ 「フレイル」の認知度について、「知らない」が59.1%で最も多く、次いで「言葉を知っている」が18.8%、「内容をよく知っている」が13.1%となっています。</p> <p>○ 前回調査と比べ、「内容を知っている方」が増加しています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 「知らない」は女性より男性のほうが多く、男性前期高齢者は70%を超えています。</p> <p>○ 「内容をよく知っている」は女性前期高齢者のみ10.2%と多くなっています。また、女性前期高齢者は「内容を知っている」が20%台と多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 圏域で差はみられません。</p> <p>【認定該当状況】</p> <p>○ 「知らない」は一般高齢者より要支援1・2のほうが9.6ポイント多くなっています。</p>
--

【フレイルの認知状況】

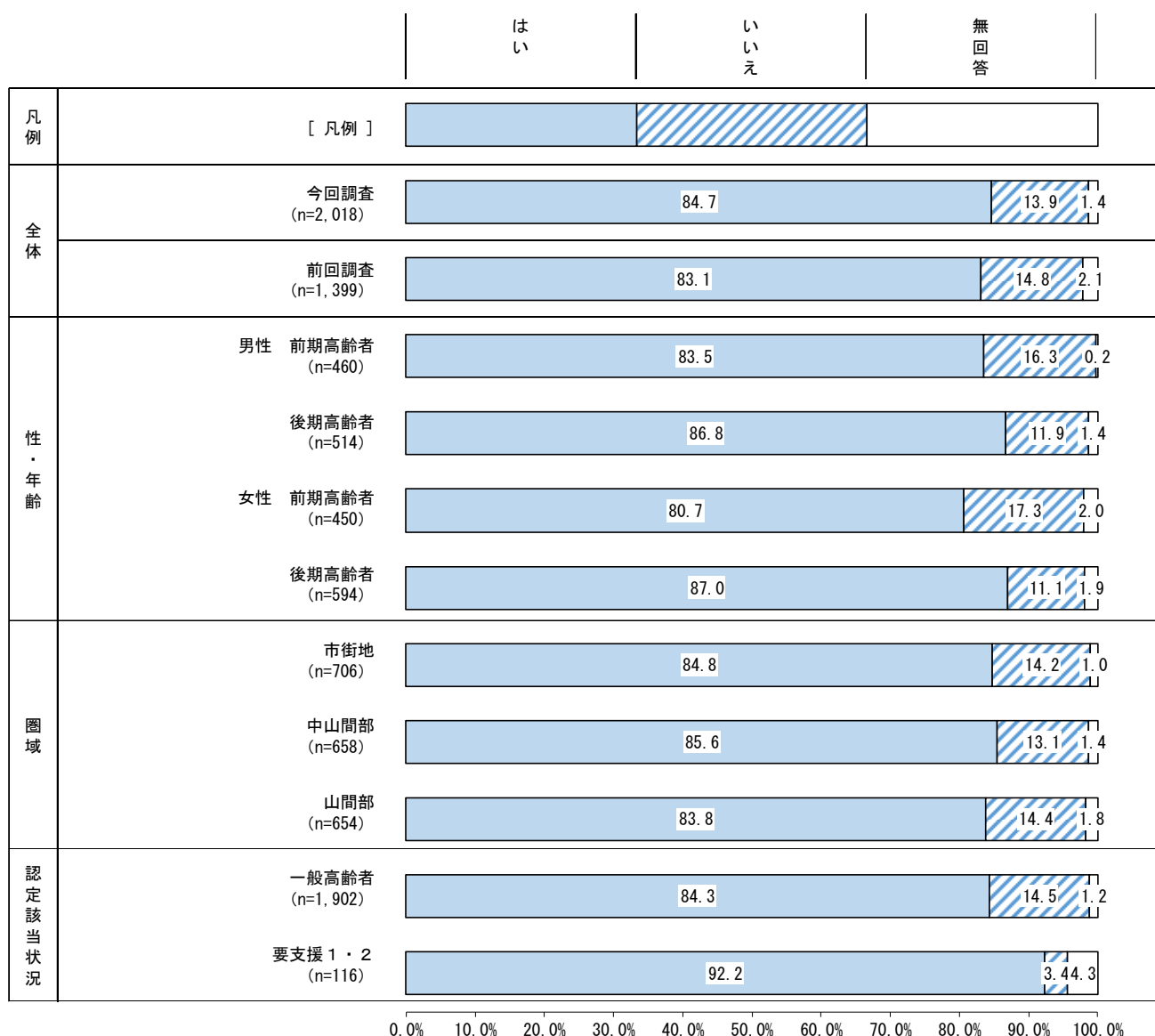


(11) 通院等の状況

●問8(12) かかりつけ医はありますか。(1つだけ)

<p>【全体】 ○ かかりつけ医の有無について、「はい」が84.7%、「いいえ」が13.9%となっています。 ○ 前回調査とほぼ同じ結果となっています。</p> <p>【性・年齢】 ○ 性・年齢別で差はみられません。</p> <p>【圏域】 ○ 圏域で差はみられません。</p> <p>【認定該当状況】 ○ 「はい」は一般高齢者より要支援1・2のほうが7.9ポイント多くなっています。</p>

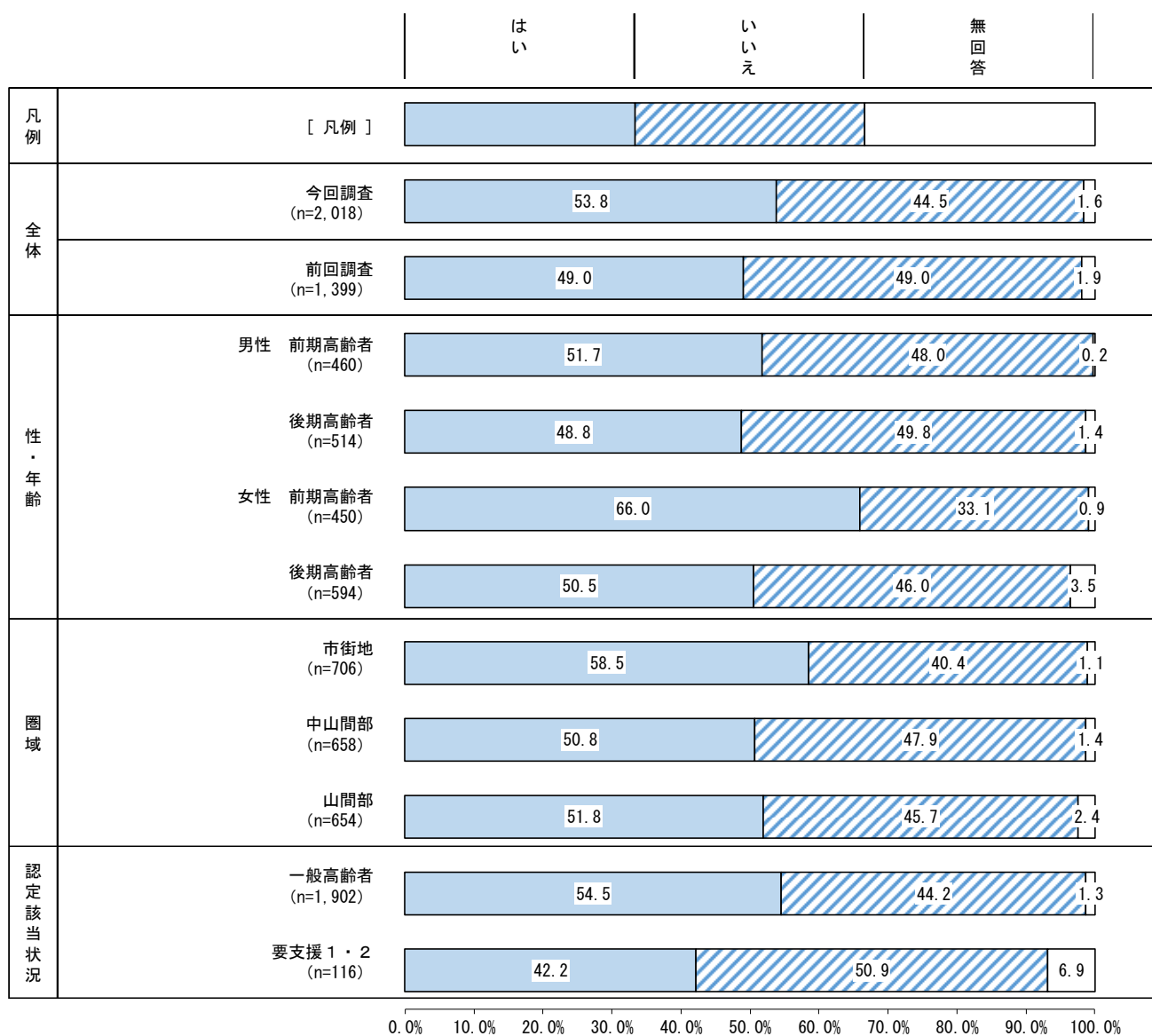
【かかりつけ医の有無】



●問8(13) 定期的に歯科検診を受けていますか（1つだけ）

- 【全体】**
 ○ 定期的に歯科検診を受診しているかについて、「はい」が53.8%、「いいえ」が44.5%となっています。
 ○ 前回調査と比べ、「はい」が4.8ポイント増加しています。
- 【性・年齢】**
 ○ 「はい」は女性前期高齢者で60%台と多く、男性後期高齢者は50%未満で低くなっています。
- 【圏域】**
 ○ 圏域で差はみられません。
- 【認定該当状況】**
 ○ 「はい」は要支援1・2より一般高齢者のほうが12.3ポイント多くなっています。

【歯科検診の受診状況】

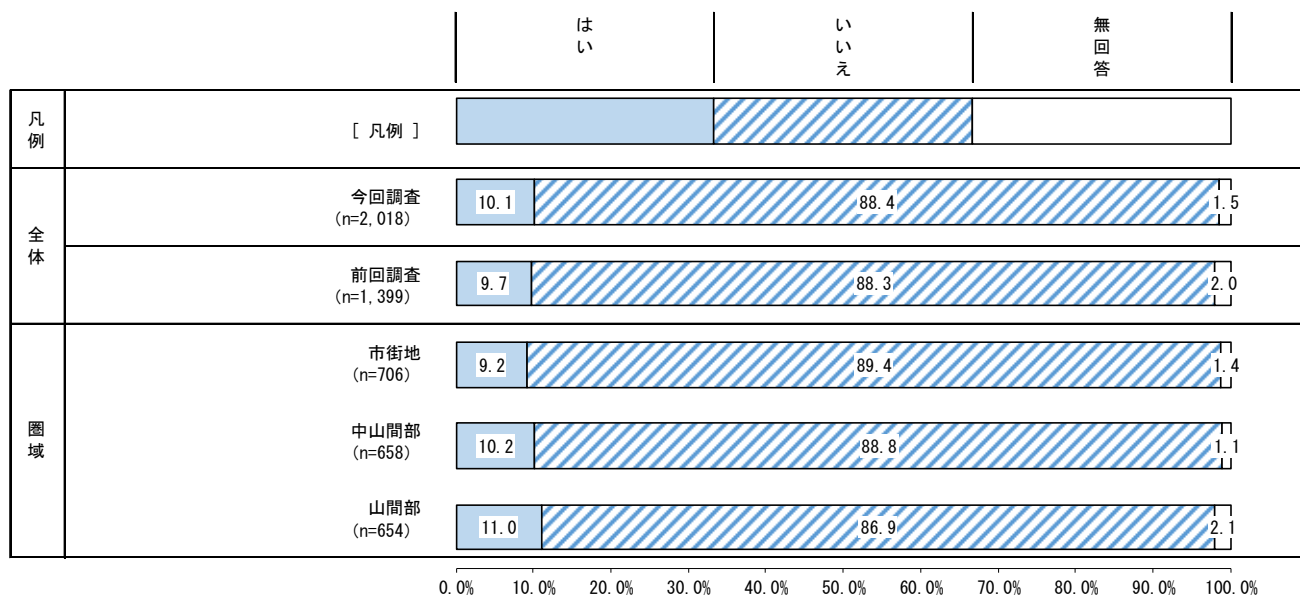


(12) 認知症にかかる相談窓口の把握状況

●問9 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状があるかについて、「はい」が10.1%となっています。
 - 前回調査とほぼ同じ結果となっています。
- 【圏域】**
- 圏域で差はみられません。

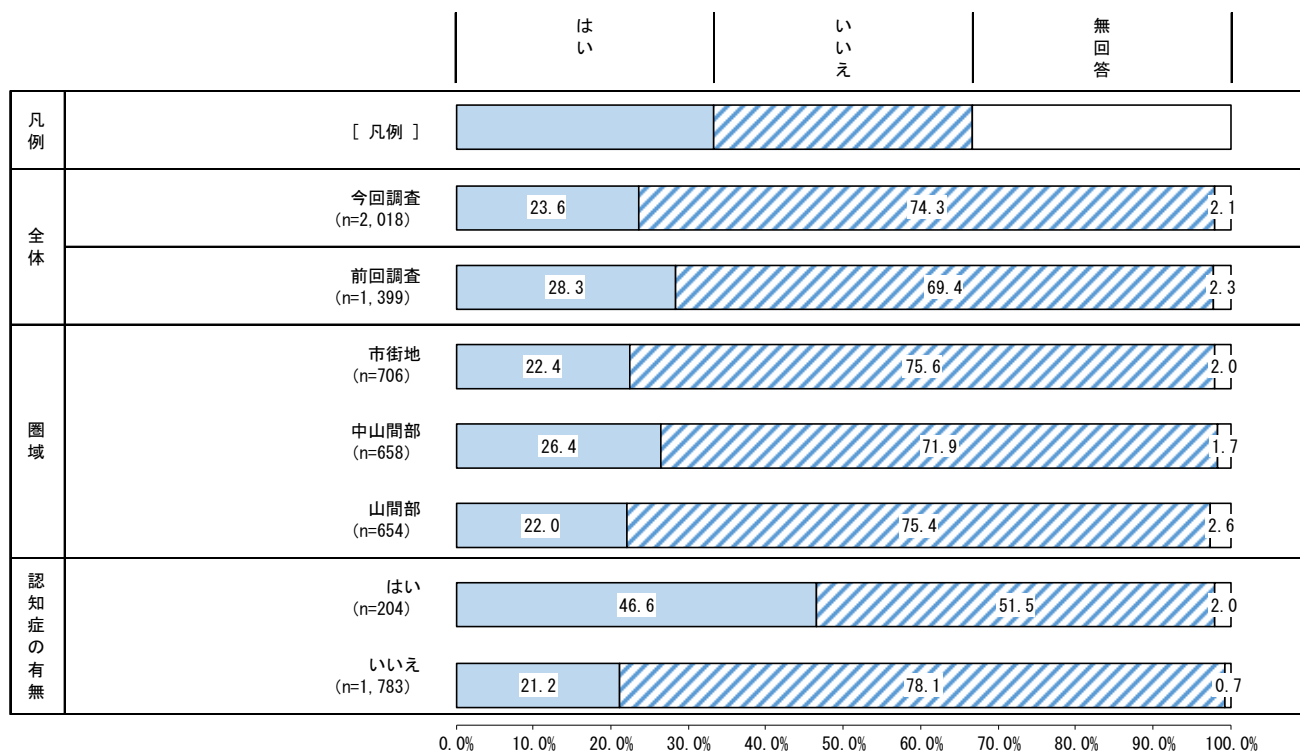
【自身や家族の認知症の症状有無】



●問9 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

- 【全体】**
- 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が 23.6%、「いいえ」が 74.3%となっています。
 - 前回調査と比べ、「はい」が 4.7ポイント減っています。
- 【圏域】**
- 圏域で差はみられません。
- 【自身や家族の認知症症状の有無 (問9.1)】**
- 自身や家族に認知症症状のある人では、「はい」が 46.6%と、いない人より 25.4ポイント多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】



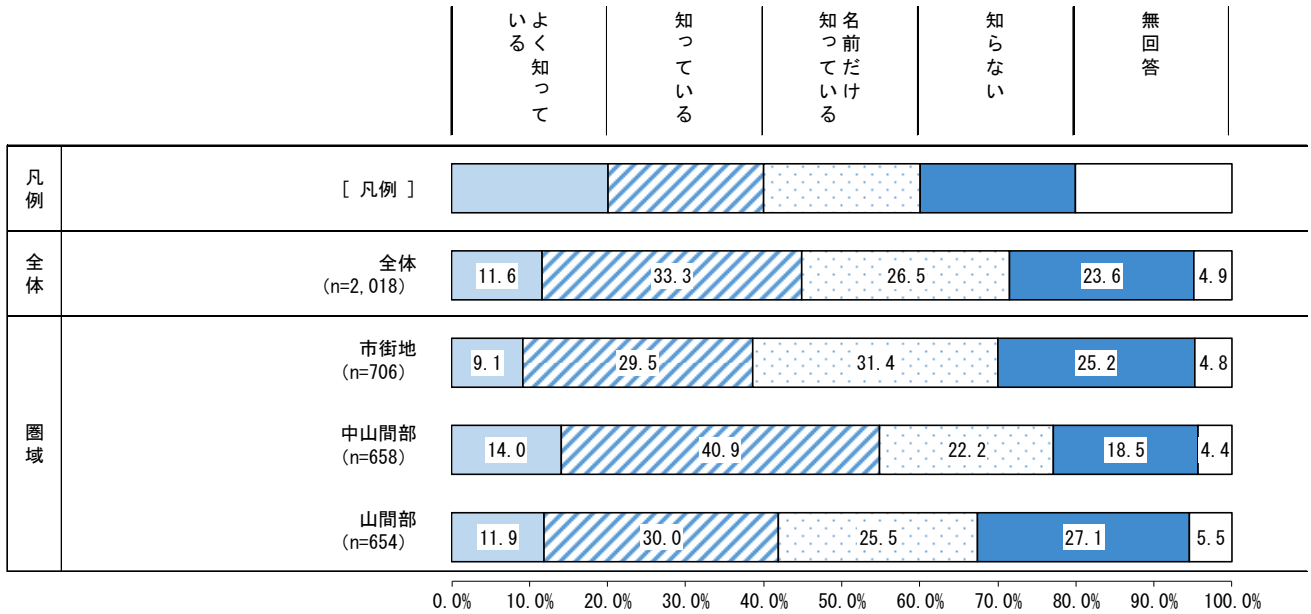
(13) その他

●問11 (6) 「地域包括支援センター」を知っていますか。

【全体】
 ○ 地域包括支援センターの認知度について、「知っている」が 33.3%、「名前だけ知っている」が 26.5%となっています。

【圏域】
 ○ 中山間部での認知度が高くなっています。

【地域包括支援センターの認知状況】

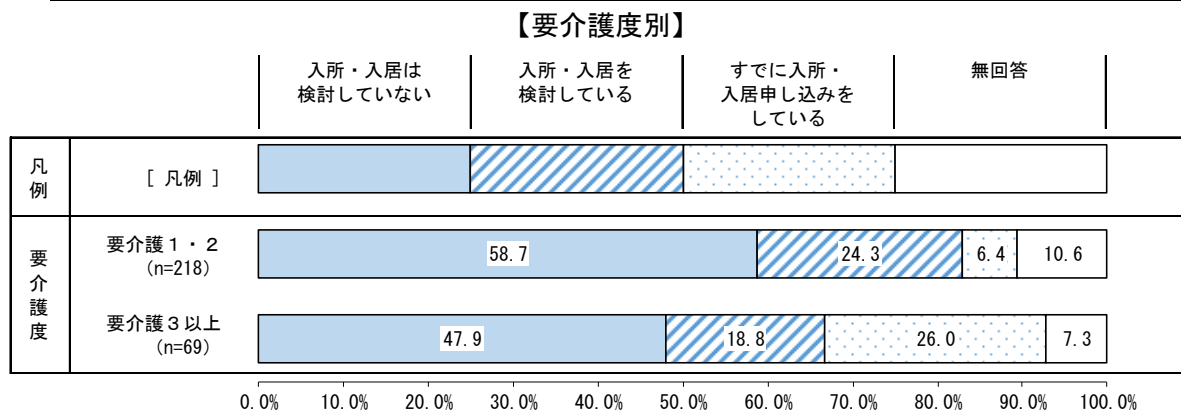


4. 調査結果（在宅介護実態調査）

（1）施設等への入所・入居検討状況

●問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況

○ 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居を検討している」は要介護1・2で24.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」は要介護3以上で26.0%と最も多くなっています。



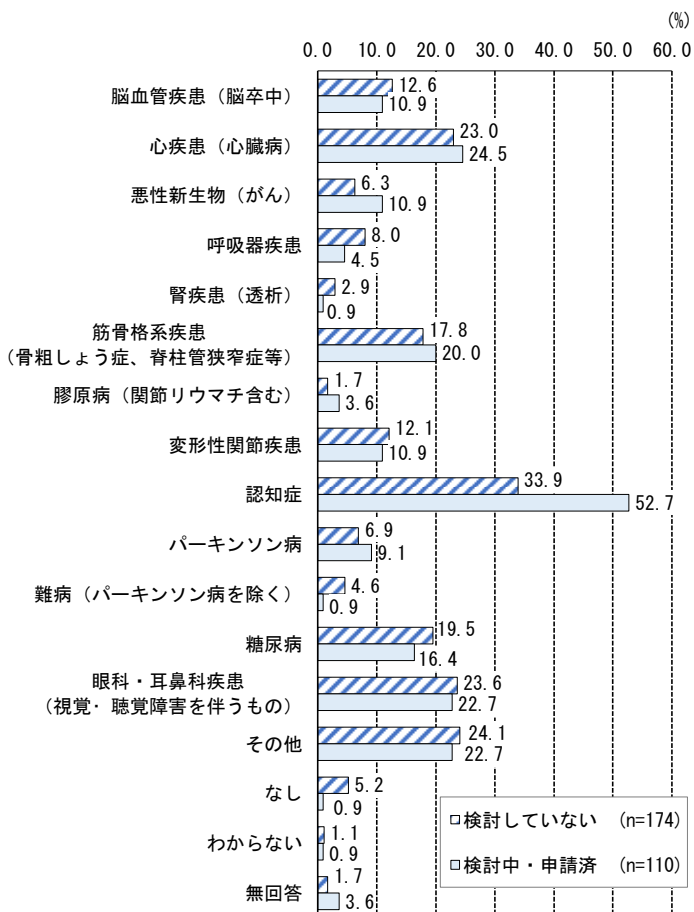
（2）現在抱えている傷病

●問11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病

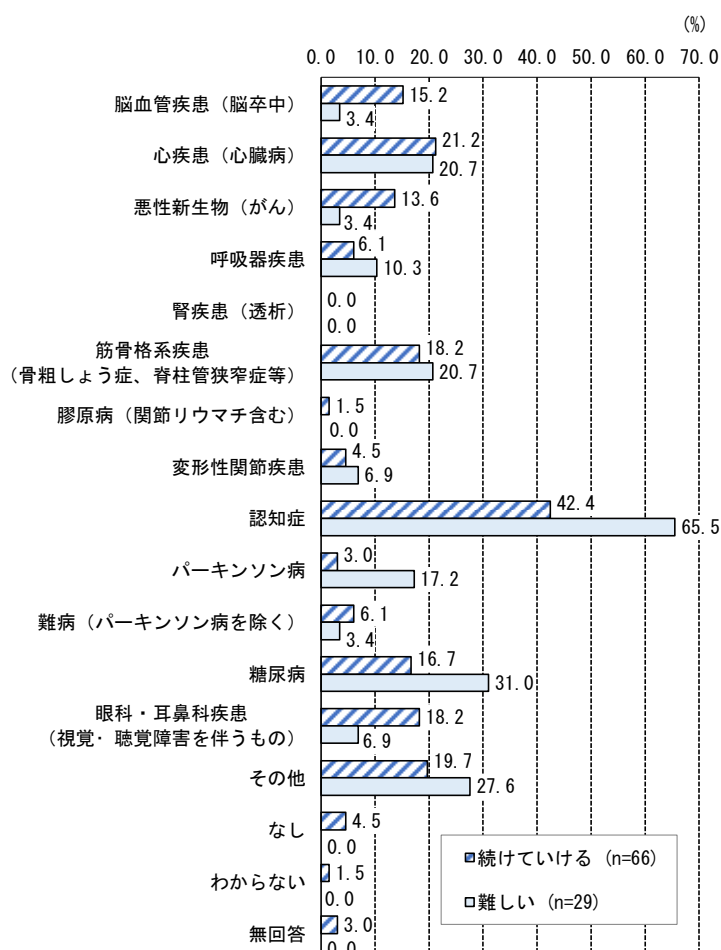
○ 施設等への入所・入居を検討中・申請済の高齢者が抱える傷病としては、「認知症」が52.7%と最も多くなっています。

○ 介護者が仕事を続けていくことが難しいケースにおいても「認知症」が65.5%と最も多くなっていますが、「糖尿病」も31.0%と多くなっています。

【施設等の検討状況別】



【就労継続の可否別】

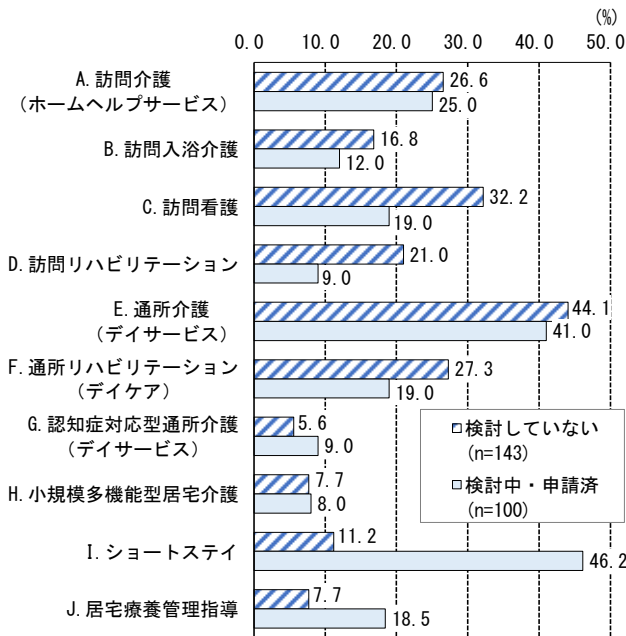


(3) 介護保険サービスの利用状況

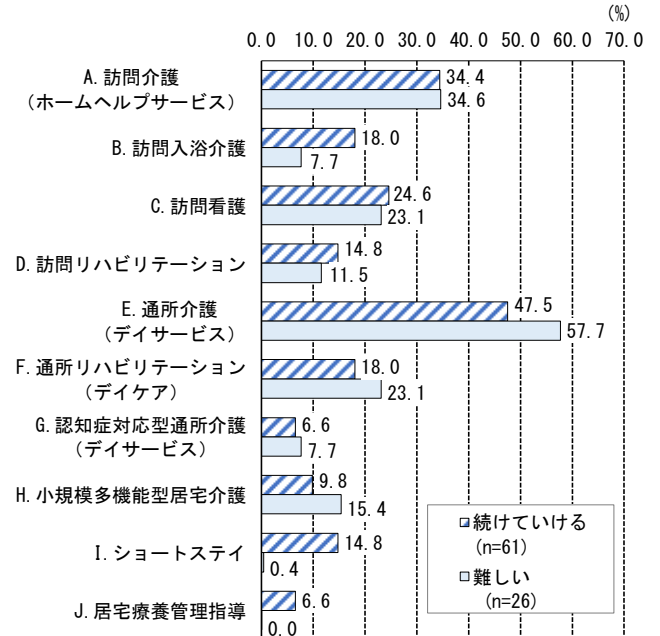
●問13-1 令和7年1月1日～30日（1か月）の間の利用状況

- 施設等への入所・入居を検討していない高齢者では「E. 通所介護（デイサービス）」の利用が最も多く、検討中・申込済の高齢者では「I. ショートステイ」の利用が最も多くなっています。
- 介護者が就労を続けていける高齢者、就労継続が難しい高齢者ともに「E. 通所介護（デイサービス）」の利用が最も多くなっています。

【施設等の検討状況別】



【就労継続の可否別】

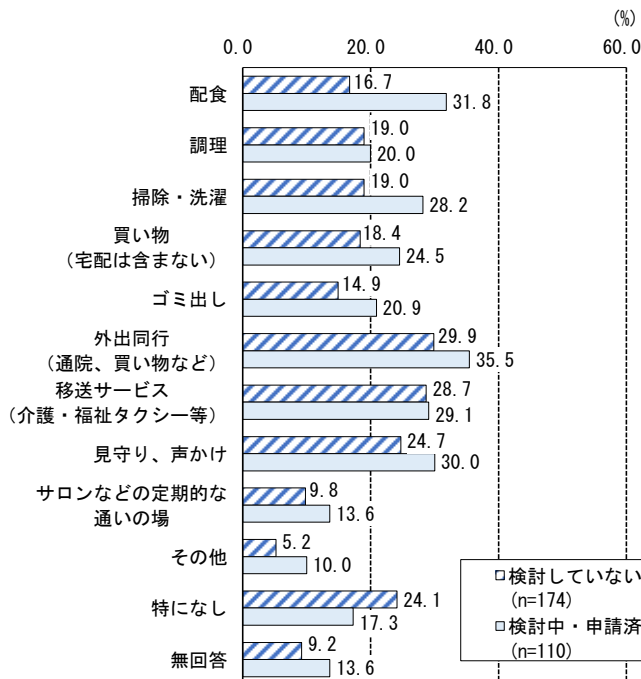


(4) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス（介護保険以外）

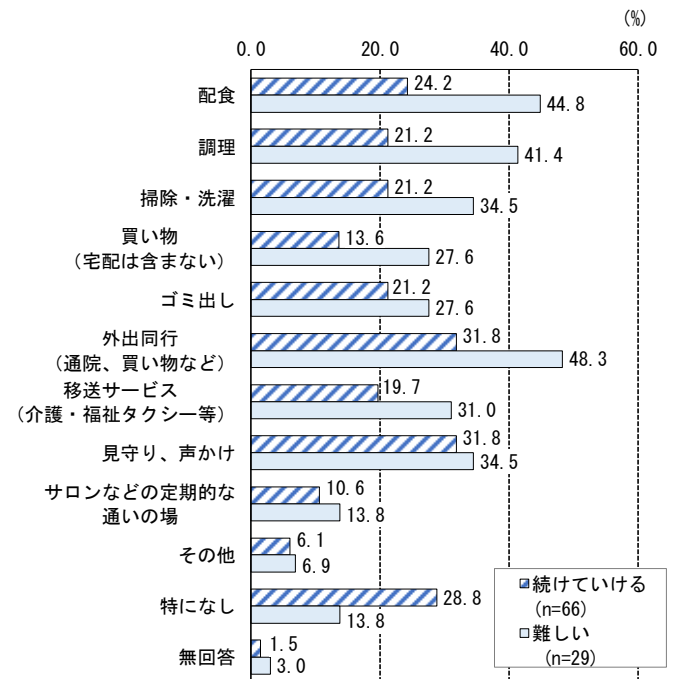
●問9 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）

- 施設等への入所検討中・申請済の高齢者では「外出同行（通院、買い物など）」が35.5%で最も多く、続いて「配食」が31.8%となっています。
- 介護者の就労継続可否に関わらず「外出同行（通院、買い物など）」が最も多くなっていますが、継続が難しい高齢者では48.3%と特に多くなっています。

【施設等の検討状況別】



【就労継続の可否別】

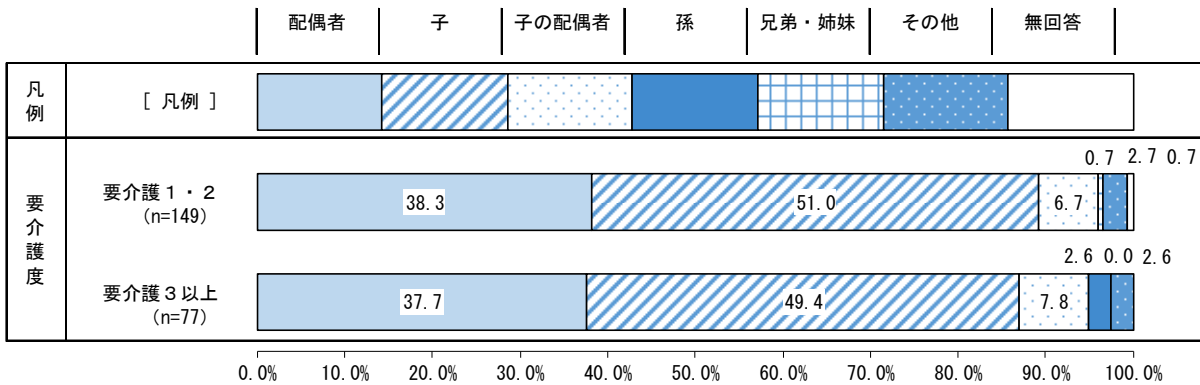


(5) 主な介護者の続柄

●問3 主な介護者の方

○ 要介護1・2、要介護3以上ともに、「子」が約5割となっています。

【要介護度別】



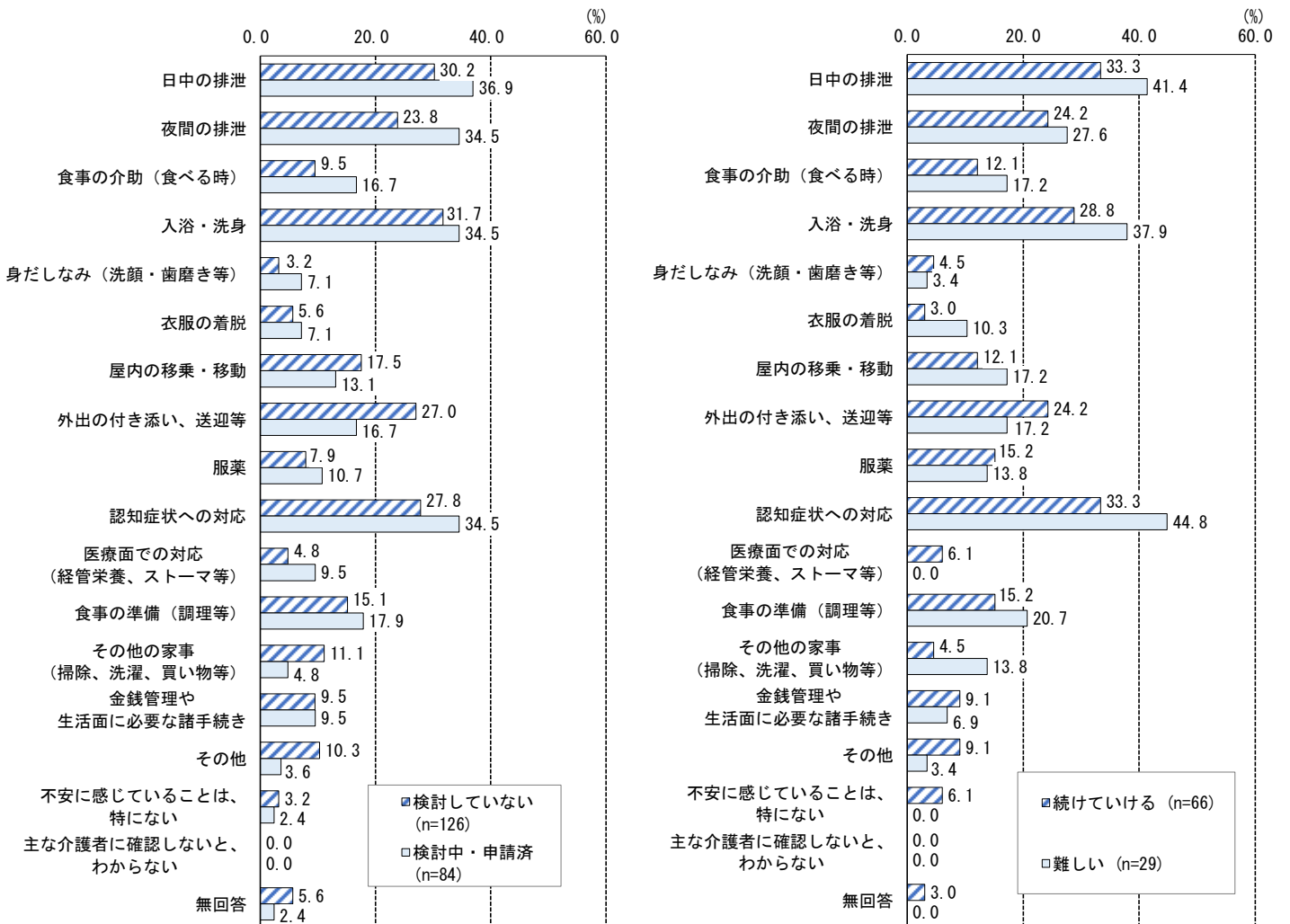
(6) 主な介護者が不安に感じる介護内容

●問3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が特に不安に感じる介護等

○ 施設等への入所・入居を検討中・申請済の高齢者の介護者では、「日中の排泄」「夜間の排泄」「入浴・洗身」「認知症状への対応」が多くなっています。
 ○ 就労継続が難しい介護者では、「日中の排泄」「認知症状への対応」「入浴・洗身」が多くなっています。

【施設等の検討状況別】

【就労継続の可否別】

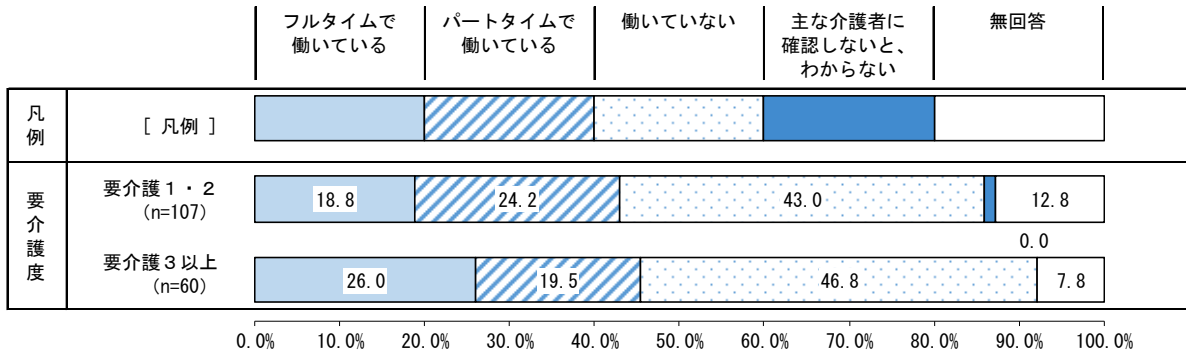


(7) 主な介護者の勤務形態

●問1 主な介護者の方の現在の勤務形態

○ 要介護度が上がるほど、「働いていない」が多くなっています。

【要介護度別】



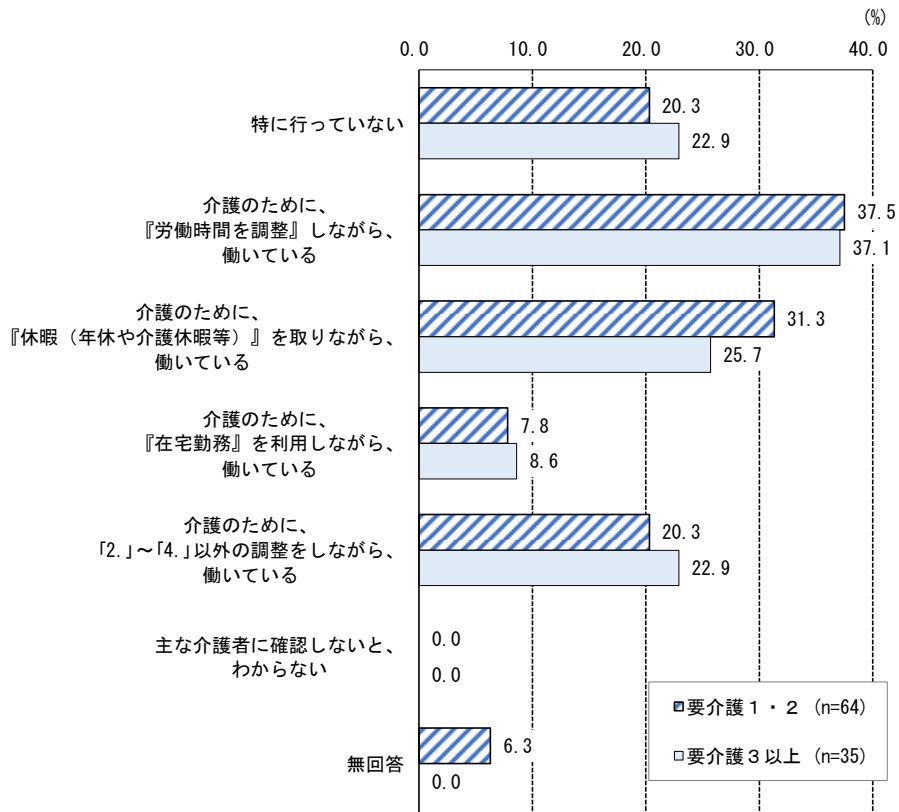
(8) 介護による働き方の調整

●問2-1 主な介護者の方が介護をするにあたってしている働き方についての調整等

○ 要介護1・2では、「介護のために『労働時間を調整』しながら、働いている」が37.5%で最も多くなっており、次いで「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が31.3%となっています。

○ 要介護3以上では、「介護のために『労働時間を調整』しながら、働いている」が37.1%で最も多くなっており、次いで「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が25.7%となっています。

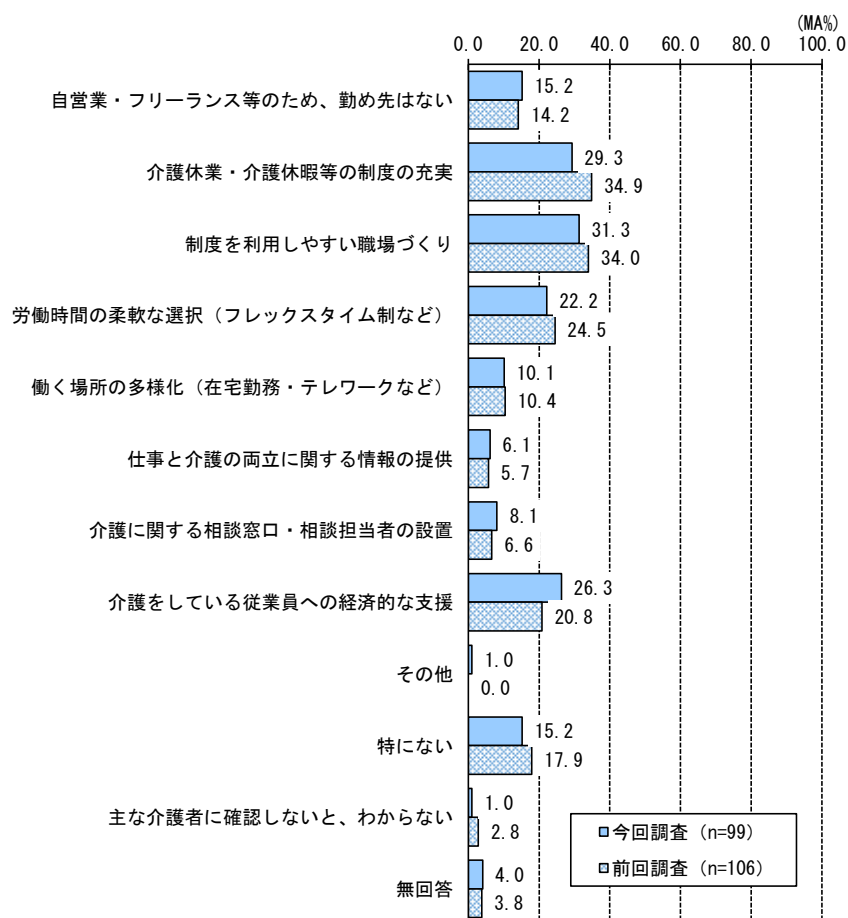
【要介護度別】



(9) 仕事と介護の両立に効果がある支援

●問2-2 主な介護者の方が仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

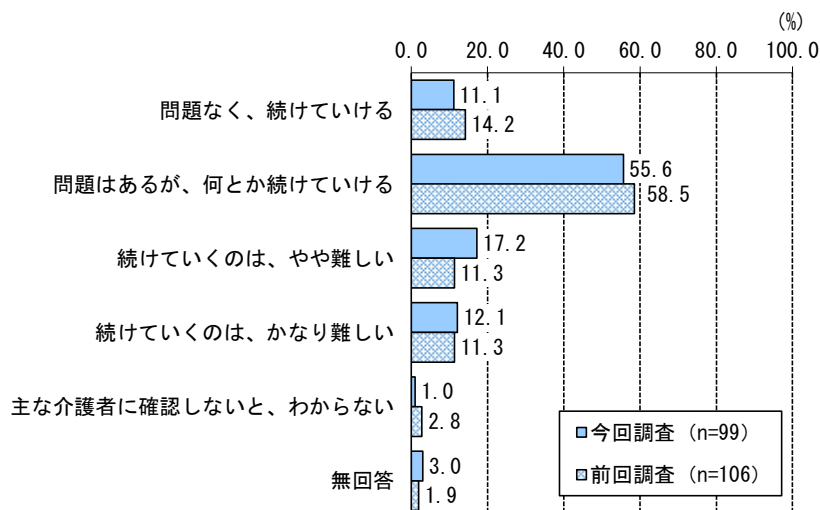
○ 仕事と介護の両立に効果のある支援について、「制度を利用しやすい職場づくり」が31.3%で最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.3%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が26.3%となっています。



(10) 仕事と介護の両立の可否

●問2-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうか

○ 仕事と介護の両立の可否について、「問題はあるが、何とか続けていける」が55.6%で最も多く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が17.2%、「続けていくのは、かなり難しい」が12.1%となっています。



令和8年3月11日 亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会資料

前回調査との比較・分析について

前回調査との比較

前回調査（令和4年度調査）

(対象者)

圏域二一ズ調査：令和4年11月1日現在で65歳以上の高齢者の中から層化抽出（市内3圏域）

在宅介護実態調査：令和4年11月1日現在で65歳以上の高齢者、及び第2号被保険者で、在宅の介護保険サービス利用者から層化抽出（市内3圏域）

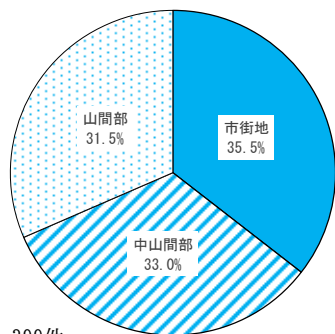
(調査期間)

圏域二一ズ調査：令和4年12月13日（火）～12月28日（水）

在宅介護実態調査：令和4年12月13日（火）～12月28日（水）

(実施方法)

郵送配布・郵送回収



n=1,399件

圏域	該当地域
①市街地	亀岡地区、大井町、千代川町、篠町、東つつじヶ丘、西つつじヶ丘、南つつじヶ丘
②中山間部	曾我部町、吉川町、蔦田野町、馬路町、旭町、千歳町、河原林町、保津町
③山間部	東別院町、西別院町、本梅町、畑野町、宮前町、東本梅町

	配布数	有効回収数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	2,250件	1,399件	62.2%
在宅介護実態調査	625件	343件	54.9%

今回調査（令和7年度調査）

(対象者)

圏域二一ズ調査：令和7年12月1日現在で65歳以上の高齢者の中から層化抽出（市内3圏域）

在宅介護実態調査：令和7年12月1日現在で65歳以上の高齢者、及び第2号被保険者で、在宅の介護保険サービス利用者から層化抽出（市内3圏域）

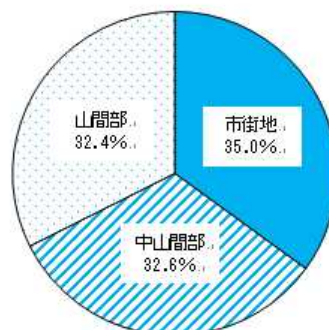
(調査期間)

圏域二一ズ調査：令和7年12月24日（水）～令和8年1月16日（金）

在宅介護実態調査：令和7年12月24日（水）～令和8年1月16日（金）

(実施方法)

郵送配布・郵送回収・聞き取り調査



n=2,018件

圏域	該当地域
①市街地	亀岡地区、大井町、千代川町、篠町、東つつじヶ丘、西つつじヶ丘、南つつじヶ丘
②中山間部	曾我部町、吉川町、蔦田野町、馬路町、旭町、千歳町、河原林町、保津町
③山間部	東別院町、西別院町、本梅町、畑野町、宮前町、東本梅町

	配布数	有効回収数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	3,500件	2,018件	57.7%
在宅介護実態調査	608件	314件	51.6%

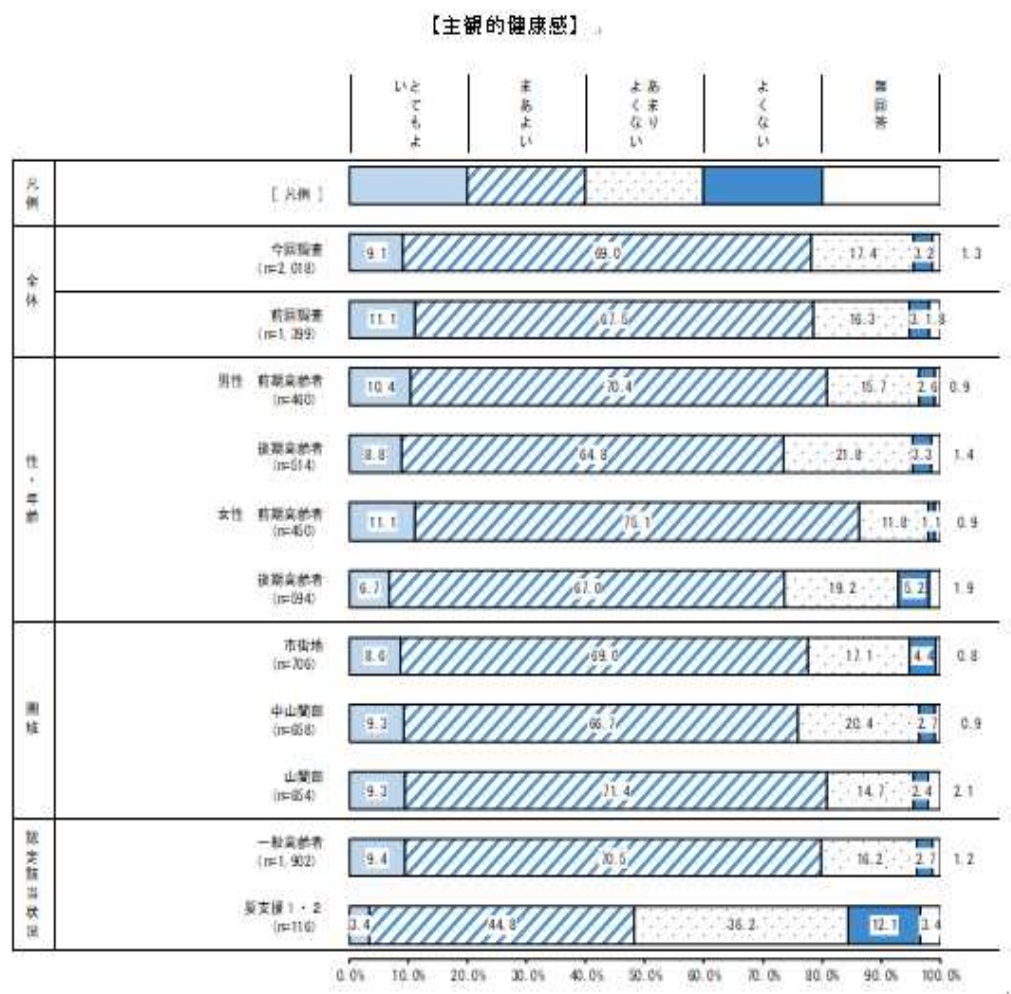
亀岡市高齢者等実態調査の結果について 前回調査との比較

<資料1 P4~6>

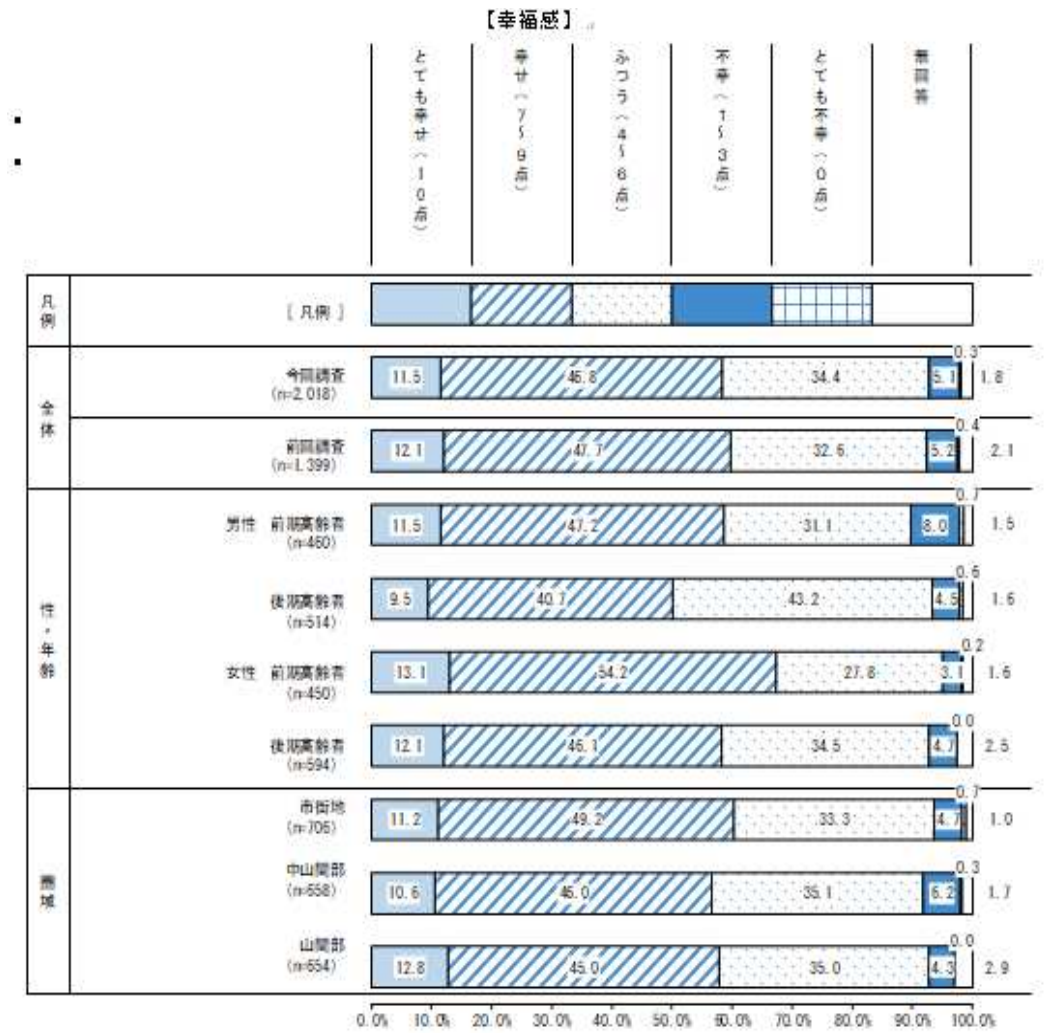
最終アウトカム「自分は健康である」と感じている人が多い
(評価) 主観的健康感、主観的幸福感

主観的健康感については、「とてもよい」の割合は減少、「まあよい」の割合は増加している。
一方で、主観的幸福感については、7点以上の割合は若干下がっているが、ほぼ同じ結果である。

【主観的健康感】



【主観的幸福感】



前回調査との比較

<資料1 P7～19>

各項目の変化について

生活機能評価

運動器の機能低下リスクについて、4.1ポイントの上昇（悪化）がみられた（資料1 7p）

転倒リスクについて、2.9ポイントの上昇（悪化）がみられ、市街地⇒中山間部⇒山間部の順にリスクが高くなっている（資料1 8p）

閉じこもりリスクについてはほぼ変化がなかったが、市街地⇒中山間部⇒山間部の順にリスクが高くなっている（資料1 9p）

日常生活評価

IADL（手段的自立度）について、ほぼ変化はなく、圏域ごとの差も少ない（資料1 14p）

社会参加評価

知的能動性について、4点（高い）の割合が、8.1ポイントの低下がみられた（資料1 15p）

地域の会・グループへの参加状況

地域づくり活動への参加意向は「是非参加したい」「参加してもよい」の合計割合が、4.6ポイント低下した（資料1 19p）

前回調査との比較

<資料1 P20～27>

各項目について

家族や友人・知人以外の相談相手（資料1 20p）

何かあったときの相談相手として、地域包括支援センター・市役所の割合が1.5ポイント低下している。また、「そのような人はいない」の割合が7.5ポイント増えている。

地域包括支援センターの認知度（資料1 27p）

「地域包括支援センター」を知っているかという問いに対して、知っている人の割合は71.4%と高い数値となっている。

「フレイル」の認知度（資料1 22p）

「フレイル」を知っているかという問いに対して、知らない人の割合は低下しているものの、知っている人（3つの選択肢を合わせた）の割合が37.0%と低い数値となっている。

認知症にかかる相談窓口の把握状況（資料1 25p）

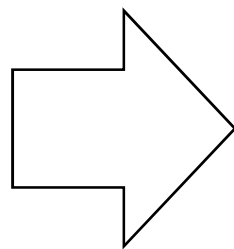
認知症に関する相談窓口の認知度について「はい」の人は23.6%となっており、前回調査と比較して4.7ポイント低下している。「いいえ」が74.3%となっている。

調査結果の分析について

今回の調査結果の傾向として、前回の調査から大きな変化は少ないものの、生活機能評価や社会参加評価においては数値の低下がみられた。また、相談窓口等の認知度が低いとわかった。

課題

- ・ 前回調査と比較したときに、全体として大きな変化はないものの、生活機能評価・社会参加評価において数値の低下がみられた。
- ・ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向も減少がみられる。
- ・ 何かあったときの相談相手として「そのような人はいない」の割合が高い。地域包括支援センターの認知度は高いものの相談先として選ぶ人は少ない。
- ・ 「フレイル」の認知度は向上したが、低い。
- ・ 認知症の相談窓口の認知度が低い。



今後の対応策

フレイルの認知度は上がったものの、本来改善すべきである生活機能面で悪化がみられる。知識のみ普及し、介護予防まで至っていないと考えるため、介護予防に係る事業を引き続き継続し、充実することが必要であると考えられる。また、認知症に係る相談窓口やその他の専門職による相談窓口へ身近につながるよう、広報活動・相談体制を強化する必要があると考えられる。

亀岡市 高齢者等実態調査（令和7年度） 【介護予防・日常生活圏域二ーズ調査票】

日頃は、亀岡市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、3年に一度「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行い、高齢者福祉施策や介護保険事業の推進に取り組んでおります。

このたび、本市にお住まいの令和7年12月1日現在で65歳以上の方から、無作為に選んだ皆様を対象に、現在の心身状況や、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対するお考えをお聞かせいただくため、健康や日常生活に関する調査を実施します。調査結果は、令和8年度に策定する高齢者福祉計画に係る調査研究の基礎資料として活用させていただきます。

なお、ご記入いただきました内容は、本調査以外の目的に使用いたしません。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

亀岡市 健康福祉部 高齢福祉課

記入に際してのお願い

- ご回答にあたっては封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族の人等がご本人の立場にたって回答されてもかまいません。
- ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。数字を記入する欄は右詰め（例

	6	2
--	---	---

 kg）でご記入ください。
- とくに断りの無い場合は選択肢の1つに○をつけてください。
「○はいくつでも」等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。
- 調査票記入後は3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
1月16日（金）までに投函してください。
- この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

個人情報 の 取 り 扱 い に つ い て

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

★まずはじめに、以下のご記入をお願いします。

記 入 日	令和 年 月 日
-------	----------

調査票を記入されたのはどなたですか

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____ ）



あて名のご本人が回答できない主な理由は何ですか

1. 身体的状況
2. 施設入院・入所
3. 転居
4. その他（ _____ ）

3. その他の人（具体的に： _____ ）

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）
3. 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）
4. 息子・娘との2世帯
5. その他（具体的に： _____）

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない ⇒ (3) へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【(2)で「2.」または「3.」（何らかの介護・介助が必要）と回答の方のみ】

(2) -1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（〇はいくつでも）

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）
2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）
4. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）
5. 関節の病気（リウマチ等）
6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）
10. 視覚・聴覚障がい
11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他（ _____ ）
15. 不明

【(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答の方のみ】

(2) -2 主にどなたの介護、介助を受けていますか（〇はいくつでも）

1. 配偶者（夫・妻）
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他（ _____ ）

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

1. 持家（一戸建て）
2. 持家（集合住宅）
3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅（一戸建て）
5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
6. 借家
7. その他（具体的に： _____）

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか

1. はい 2. いいえ

(5) 過去1年間に転んだ経験がありますか

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(6) 転倒に対する不安は大きいですか

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(7) 週に1回以上は外出していますか

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(8) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(9) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか

1. はい 2. いいえ

(10) 外出を控えていますか

1. はい ⇒ (10) -1へ 2. いいえ ⇒ (11)へ

【(10)で「1. はい」(外出を控えている)と回答の方のみ】

(10) -1 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 病気 | 2. 障がい (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配 (失禁など) |
| 5. 耳の障がい (聞こえの問題など) | 6. 目の障がい |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他 () |

(11) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

- | | | |
|------------------|-------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす (カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他 (具体的に:) | | |

問3 食べることについて

(1) 身長・体重を記入ください

身長 cm

体重 kg

(2) 1日3食きちんと食べていますか

1. はい 2. いいえ

(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい 2. いいえ

(4) お茶や汁物等でむせることがありますか

1. はい 2. いいえ

(5) 口の渇きが気になりますか

1. はい 2. いいえ

(6) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

1. はい 2. いいえ

(7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(7) -1 噛み合わせは良いですか

1. はい 2. いいえ

【(7)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答の方のみ】

(7) -2 毎日入れ歯の手入れをしていますか

1. はい 2. いいえ

(8) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

(9) どなたかと食事をとる機会がありますか

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

(16) 体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか		
1. はい	2. いいえ	
(17) 友人の家を訪ねていますか		
1. はい	2. いいえ	
(18) 家族や友人の相談にのっていますか		
1. はい	2. いいえ	
(19) 病人を見舞うことができますか		
1. はい	2. いいえ	
(20) 趣味はありますか		
1. 趣味あり（具体的に： _____)	2. 思いつかない	
(21) 生きがいがありますか		
1. 生きがいあり（具体的に： _____)	2. 思いつかない	
(22) 耳が聞こえにくくなったと感じることがありますか（〇はいくつでも）		
1. 会話をしているときに聞き返すことがよくある。 2. 相手の話す内容を聞き取れなかったときに、推測で言葉を判断することがある。 3. 電子レンジの「チン」という音や、ドアのチャイムの音が聞こえにくいと感じることがある。 4. 家族に「テレビやラジオの音量が大きい」とよく言われる。 5. 大勢の人がいる場所や周りがかうさい中での会話は、聞きたい人の声が聞きづらいと感じる。 6. 感じることはない		
【(22)で「1.」～「5.」と回答の方のみ】		
(22) -1 聞こえにくさが、日常生活やコミュニケーションに影響していますか		
1. 大きく影響している	2. 少し影響している	3. 影響していない
【(22)で「1.」～「5.」と回答の方のみ】		
(22) -2 現在、補聴器を使用していますか		
1. 使用している	2. 使用していない	
【(22)-2で「2. 使用していない」と回答の方のみ】		
(22) -3 使用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）		
1. 価格が高い 2. 使用することに抵抗がある（周囲の目が気になる） 3. （購入について）どこに相談すればよいのかわからない 4. 過去に使用したが、自分に合わなかった 5. 必要性を感じない 6. その他（ _____)		

(4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか		
1. はい	2. いいえ	
(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか		
1. はい	2. いいえ	
(6) お酒は飲みますか		
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	
3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない	
(7) タバコは吸っていますか		
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない	
(8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症 (脂質異常)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	9. 腎臓・前立腺の病気
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	11. 外傷 (転倒・骨折等)	12. がん (悪性新生物)
13. 血液・免疫の病気	14. うつ病	15. 認知症 (アルツハイマー病等)
16. パーキンソン病	17. 目の病気	18. 耳の病気
19. その他 (具体的に: _____)		
(9) 万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか		
1. 在宅 (自宅・子どもの家・兄弟親族の家等)		
2. 在宅に準ずる施設 (サービス付き高齢者住宅、有料老人ホーム等)		
3. 介護保険施設 (特別養護老人ホーム、老人保健施設等)		
4. 病院等医療施設	5. その他 (具体的に: _____)	
(10) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) や人生会議を知っていますか		
※「人生会議・ACP (アドバンス・ケア・プランニング)」とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族などや医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。		
1. よく知っていて、取り組んでいる	2. よく知っているが、取り組んでいない	
3. 聞いたことはあるが、よく知らない	4. 知らない	
(11) 「フレイル」を知っていますか		
1. 内容をよく知っている	2. 内容を知っている	
3. 言葉を知っている	4. 知らない	
(12) かかりつけ医はありますか		
1. はい	2. いいえ	
(13) 定期的に歯科検診を受けていますか		
1. はい	2. いいえ	

問9 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい 2. いいえ

問10 介護保険サービスについて

(1) サービス利用に伴う自己負担分について経済的負担感はどうですか

1. 負担は感じない 2. この程度ならよい 3. やや負担が大きい 4. 負担が大きい
5. サービスを利用していない

(2) あなたの介護サービスの利用について、どのようにお考えですか

1. できるだけ家族や自分で対応すべきであり、介護サービスには頼らない
2. 家族、自分、ボランティアや地域の人々の力でも足りない部分を介護サービスで補ってほしい
3. 家族や自分だけでは対応できない部分については、介護サービスを利用したい
4. 介護サービスを利用する権利があるのだから、できるだけ利用したい
5. その他（具体的に： _____）

(3) あなたは、介護サービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか

介護保険料は、市全体の状況や実績から決定しています。介護サービスを充実させるほど保険料は高くなり、逆に保険料を下げれば介護サービスの水準が下がります。

1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい⇒(3)-1、(3)-2へ
2. 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのがよい⇒(3)-3へ
3. サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい⇒(3)-3へ
4. その他（具体的に： _____）⇒問11へ

【(3)で「1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」と回答の方のみ】

(3)-1 施設や介護サービスの量が増えるのであれば、保険料の基準額（現在月5,800円）は、いくらが適当だと思いますか

1. 月5,800円～6,000円未満 2. 月6,000円～7,000円未満
3. 月7,000円～8,000円未満 4. 月8,000円以上
5. わからない

長時間のご協力に感謝します。記入もれがないか、お確かめください。

記入した調査票は切り離すことなく、同封した返信用封筒に入れて、

1月16日(金)までに投函してください。

※返信用封筒には、この調査票のみを入れてご投函ください。(切手不要)

亀岡市 高齢者等実態調査（令和7年度） 【在宅介護実態調査票】

日頃は、亀岡市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、3年に一度「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行い、高齢者福祉施策や介護保険事業の推進に取り組んでおります。

このたび、本市にお住まいの在宅で生活をしている要支援、要介護認定を受けている方のうち、今年度に認定の更新や区分変更をされる方を対象に、現在の心身状況、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対するお考えや介護者の方に関する日常生活についてお聞かせいただき調査を実施します。調査結果は、高齢者等の適切な在宅生活の継続と家族等介護者の就労継続に向けて、介護サービスのあり方を検討する基礎資料として活用させていただきます。

なお、ご記入いただきました内容は、本調査以外の目的に使用いたしません。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

亀岡市 健康福祉部 高齢福祉課

記入に際してのお願い

- ご回答にあたってA票は、封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族の人等がご本人の立場にたって回答されてもかまいません。
B票は、主たる介護者の方がお答えください。
- ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。
- とくに断りの無い場合は選択肢の1つに○をつけてください。
「○はいくつでも」等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。
- 調査票記入後は3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
1月16日（金）までに郵便ポストに投函してください。
- この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

亀岡市高齢福祉課 高齢者支援係

【電話】0771-25-5032（直通）

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、調査目的以外には利用いたしません。また当該情報については適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

まずはじめに、『A票』にご回答いただくのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 (代筆) |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 (代筆) | 4. 調査対象者のケアマネジャー (代筆) |
| 5. その他 () | |

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 世帯類型について、ご回答ください

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 () |
|---------|-----------|------------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) は、週にどのくらいありますか

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1. ない ⇒ 次のページの間8へ | } ⇒ 問3へ |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | |
| 3. 週に1～2日ある | |
| 4. 週に3～4日ある | |
| 5. ほぼ毎日 (週5日以上) ある | |

【問3～問7は、問2で「2.」～「5.」のいずれかと回答した方 (ご本人が介護を受けている場合) のみ】

問3 主な介護者の方は、どなたですか ※ご本人からみた続柄でお答えください

- | | | |
|--------|----------|------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 () |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
| 3. その他 () | 4. 答えたくない |

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70～79歳 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（〇はいくつでも）

〔身体介護〕	1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄	
	3. 食事の介助（食べる時）	4. 入浴・洗身	
	5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6. 衣服の着脱	
	7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い、送迎等	
	9. 服薬	10. 認知症状への対応	
	11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）		

	〔生活援助〕	12. 食事の準備（調理等）	
		13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	
		14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
	〔その他〕	15. その他（ ）	
16. わからない			

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事（自営業や農林水産業を含む）を辞めた方はいますか（〇はいくつでも）

※ 現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）

※ 総合事業に基づく支援・サービスは含みません（介護保険サービスに含めるため）

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他（ ）
11. 利用していない	

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（〇はいくつでも）

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともを含みます

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他（ |
| 11. 特になし | ） |

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームなどを指します

- | |
|----------------------|
| 1. 入所・入居は検討していない |
| 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |

問11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患（脳卒中） | 2. 心疾患（心臓病） |
| 3. 悪性新生物（がん） | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患（透析） | 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） |
| 7. 膠原病（関節リウマチ含む） | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病（パーキンソン病を除く） | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの） | 14. その他（ |
| 15. なし | 16. わからない |

問12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません

- | |
|------------|
| 1. 利用している |
| 2. 利用していない |

問13 現在、介護保険サービスを利用していますか

※ 住宅改修、福祉用具貸与・購入は含みません

- | |
|----------------------|
| 1. 利用している ⇒問 13-1 へ |
| 2. 利用していない ⇒問 13-2 へ |

問 14 あなたは、自分らしく暮らせていると思いますか

1. 思う

2. 思わない

3. わからない

問 15 在宅生活の様々な場面において、あなたの意思が尊重され、自分の望む生活が継続できていると思いますか。

1. しばしば思う

2. たまに思う

3. あまり思わない

4. 思わない

5. わからない

- “A票”の問2で「2.」～「5.」を選択された場合（ご本人が介護を受けている場合）は、「主な介護者」の方に以下の“B票”へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします。

B票 **主な介護者の方について、お伺いします**

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください

※『パートタイム』とは、“1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方”が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。

※自営業・フリーランス等の場合も、就労時間等から「1. フルタイム」「2. パートタイム」のいずれかを選択してください。

1. フルタイムで働いている	}	⇒ 問2-1～問2-3についてお答えください
2. パートタイムで働いている		
3. 働いていない	}	⇒ 次のページの間3へ
4. 主な介護者に確認しないと、わからない		

【問2-1～問2-3は、問1で「1. フルタイム」または「2. パートタイム」で働いていると回答した方のみ】

問2-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていま
すか（〇はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 特に行っていない |
| 2. 介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている |
| 3. 介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている |
| 4. 介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている |
| 5. 介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら、働いている |
| 6. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問2-2 主な介護者の方は、勤め先から特にどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効
果があると思いますか（〇は主なもの3つまで）

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | |
| 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 | |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | |
| 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） | |
| 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） | |
| 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 | |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | |
| 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 | |
| 9. その他（ | ） |
| 10. 特にない | 11. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問2-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

- | |
|---|
| 1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない |
|---|

※全員の方にお伺いします。

問3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が特に不安を感じる介護等について、ご回答ください（〇は主なもの3つまで） ※現状で行っているか否かは問いません

〔身体介護〕	1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
〔生活援助〕	12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕	15. その他（ ） 16. 不安に感じていることは、特にない 17. 主な介護者に確認しないと、わからない

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

記入もれがないか、お確かめください。

記入した調査票は切り離すことなく、同封の返信用封筒に入れて、

1月16日（金）までに投函してください。（切手不要）

第10期プラン策定の調査から計画作成までのスケジュール

